



第 7 章

---

資 料 編

## (1) 学内通知等(前震から1月間)

日 時	通 知 内 容
4月14日 21:26	<b>地震発生(前震)</b>
22:42	○各種建築設備の異常について
23:30	○4月15日(金)の休講について(掲示板/HP)
15日 2:15	○地震に伴う学生関係の行事の中止等について(HP)
3:38	○4月15日(金)の終日休講について
5:21	○体育館に避難している学生等への支援に関する協力要請について
7:48	○被害状況の確認について
8:43	○全学休講のお知らせ(掲示板)
9:19	○教職員の安否確認について
10:54	○休暇の対応について
12:43	○人的・物的被害の確認について
14:58	○五高記念館等の被害について
15:00	○学生の安否確認について(HP)
19:04	○授業再開のお知らせ(掲示板)
20:46	○授業の再開について
16日 1:25	<b>地震発生(本震)</b>
11:45	○漏水・断水状況について
11:54	○教職員の安否確認について
15:30	○学生の安否確認について(HP)
〃	○身の安全の確保について(掲示板/HP)
〃	○18日、19日の休講及び20日以降の対応について
15:42	○学生の安否確認について【部局長宛】
18:54	○18日(月)から22日(金)までの授業休講について
17日 18:30	○18日(月)から22日(金)までの授業休講について(掲示板/HP)
18日 9:27	○食料等の支援について
11:44	○安否確認ができない職員の氏名について
13:36	○盗難に関する注意喚起について
15:30	○熊本地震に関する経済支援について(HP)
15:44	○「被災時の学びの記録」について
17:00	○履修登録期限の延長及び学生関係の行事の延期等について(HP)
17:57	○有体物の受入について(九大からの支援)
19:48	○5月6日(金)までの授業休講について

日 時	通 知 内 容
19:50	○復旧に必要な検討事項の洗い出しについて
〃	○5月6日（金）までの授業休講について（HP）
19日 10:23	○建物の損傷状況の巡回について
13:21	○「平成28年熊本地震」からの復興に向けて（学長メッセージ）
14:30	○授業料の口座振替の延期について（HP）
15:00	○授業料免除・奨学金等に関する重要なお知らせ（HP）
18:20	○メンタルヘルスの不調をきたしている学生への対応について（HP）
20日 16:03	○復旧に必要な検討事項について
17:32	○エコノミークラス症候群に関して
18:00	○帰省先の大学図書館（九州地区国立大学等の附属図書館）の利用について（HP）
21日 12:00	○「住まいの相談窓口」について（HP）
13:36	○廃棄物の排出方法について
13:40	○エレベーターの復旧について
14:36	○オープンキャンパスの中止について
15:01	○五高記念館等の被害について
17:47	○教職員の安否確認について
18:00	○ボランティア活動等について（HP）
19:07	○2016年度教養教育カレンダー・行事予定表の修正版について
22日 8:33	○被災建築危険度調査の実施について
9:59	○授業再開に向けた施設に関する対応について
17:16	○熊本地震復興事業基金の設置について
17:21	○職員宿舎への入居申込手続について
18:13	○教養教育の授業再開について
19:33	○都市ガス復旧における漏洩点検について
23日 13:45	○施設調査について
25日 12:00	○託児の実施について
16:09	○他機関からの研究支援の申し出等について
17:00	○被災学生を対象とした平成28年度前期分授業料免除について（HP）
18:00	○「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の実施について（掲示板/HP）
26日 13:59	○メンタルヘルスの不調をきたしている職員への対応について
16:27	○学内無料法律相談（予約制）の実施について
27日 8:51	○電気設備の使用について

日 時	通 知 内 容
10:16	○教職員・学生への情報提供について
28日 15:53	○図書館所蔵の図書・雑誌等の返却について
16:20	○連休期間中の教育支援・学生支援・就職支援の窓口について（掲示板/HP）
17:43	○「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の実施について【再通知】 (掲示板/HP)
30日 11:16	○教職員への情報提供について
5月 6日	○5月9日（月）からの授業再開について（HP）
19:14	○授業再開に伴う学生への配慮について
5月 9日 13:06	○授業再開に係る授業への出欠状況調査について
14:33	○他大学等からの支援物資等について
10日 15:58	○附属図書館中央館の部分開館について
11日 12:00	○備蓄倉庫の在庫数量の確認について
13日 21:34	○施設詳細調査について

関係各位

地震による各種建築設備の異常について(第一報)

標記の事について、14日に発生した地震により電気設備、水道設備、ガス設備、空調設備、エレベーター設備等の異常が予想されます。異常があるものについては、順次点検し安全性を確認の後にしか復旧を行うことができません。特にガス設備(ガス式空調含む)については絶対に使用しないようにしてください。

大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願致します。

14日現在の状況  
・防火戸の閉鎖  
・エレベーターの停止

地震の発生に伴い、4月15日(金)の授業については全て終日休講とします。また、健康診断もありません。各自安全に注意して行動して下さい。なお、今後の対応等については、おってお知らせします。

学生、教職員の皆様

予定されていた以下の行事については中止しますので、お知らせします。

- 4月15日(金)の定期健康診断は中止です。
- 4月16日(土)、17日(日)のTOEIC-IPテストは中止です。
- 4月16日(土)の開放制学部教育実習事前指導は中止です。
- 4月16日(土)の工学部情報電気電子工学科のあしきた青少年の家合宿研修は中止です。
- 4月16日(土)ユア・フレンド事業説明会は中止です。

今後の対応等については随時お知らせします。

熊大職員のみなさまへ

学生支援部総務担当の●●です。  
昨夜の地震により、体育館に1000人近くの学生が夜を明かしています。

備蓄品を配給して職員も待機しておりますが夜を徹しています。

朝になれば、乾パン、クッキー等を配ったり、使用した毛布等をかたづけすることも必要です。

学生が自主的に何でもやってくれていますがある程度の指示が必要ですし、職員も足りません。職員の交代も必要です。

自宅や近隣が優先ですし、出勤したら各部局の方の被害の確認等もあるかと思いますが、もし出勤できる状況で、早めにこられる方がおられればよろしければ、体育館の方へもご協力をお願いいたします。

よろしくお願いたします。

教員各位

理事(教育・学生支援担当)

地震の発生に伴い、4月15日(金)の授業については全て終日休講とします。その後の対応等につきましては、おってお知らせします。

各総務担当 各位

お世話になります。地震による被害について情報を収集しております。つきましては、現時点で把握できている被害状況を下記により午前9時までに報告願います。なお、今後新たな被害を把握した場合は随時報告願います。

【確認事項】

- 1 学生の人的被害状況(死亡、重傷、軽症、不明など)
- 2 職員の人的被害状況(死亡、重傷、軽症、不明など)
- 3 本学の建物の被害状況

※建物等の被害は、施設企画課と情報を共有しますので、施設企画課へもCC等で報告願います。

このメールは☆各部局及び各部の総務担当(28,4,1-)へ送信しています。

昨日の地震のため、本日は全学的に休講です。安全を最優先に願います。なお、ケガをした、友人の安否に関わる情報などがありましたら、本学(342-2716)までご連絡ください。

各総務担当 各位

お世話になります。地震による被害について情報を収集しております。貴所属の全教職員について、電話等により安否確認の上、下記により午前10時までに状況報告願います。なお、今後新たな安否の状況を把握した場合は随時報告願います。

【確認事項】

教職員の安否確認(死亡、重傷、軽症、不明など)

1. 所属の教職員数( )名
  2. 無事が確認された教職員数( )名
  3. 人的被害があった教職員数( )名
- 【詳細な被害状況】
- ( )
4. 連絡が取れない教職員数( )名

このメールは☆各部局及び各部の総務担当(28,4,1-)へ送信しています。

総務担当 各位

お疲れ様です。労務課です。  
地震に伴う休暇の対応について、問い合わせがあるようですので、各担当において、以下のとおり就業規則に基づき対応をお願いいたします。

職員の場合  
職員の勤務時間、休暇等に関する規則第15条に定める特別有給休暇別表第5を参照

有期雇用職員の場合  
有期雇用職員の勤務時間、休暇等に関する規則第11条第1項第3号を参照

熊本大学教職員各位

今日の午前中、●●●●五高記念館長と一緒に、五高記念館等の被害状況をとりあえず調査しました。簡単ですが、以下のとおり報告します。

敷地には、五高記念館、前化学実験場、表門(赤門)、工学部研究資料館が、明治の煉瓦造建築物で重文指定ですが、五高記念館が8本の煙突2本が折れて屋根を傷つけ、地上に落下してほとんどばらばらになった状態です。倒壊するとき煙突を傷つけ、瓦も落ちています。これが最大の被害です。緊急対策として雨漏り防止のビニールを敷く必要があります。内部は新しいじょうしがあるようですが、ほとんど被害はありません。化学実験場は内外とも殆ど被害なし。赤門も被害ありません。工学部研究資料館(旧熊本高等工業学校)は、内部のしゅういが一部はがれましたが、大きな被害はありません。とりあえず、崩壊した煙突の写真を添付します。煙突1、2が崩壊した煙突で、煙突3、4は崩壊していませんが、根元の瓦やしゅういが割れています。

今後詳細な調査が必要ですが、とりあえず以上のような状況です。いずれの建物も傾瓦を積み上げただけの建物で、鉄筋コンクリート造の建物と比較すると、地震には弱い建物です。余震もまだ続くようですので、なるべく近づかないようお願いいたします。

学生の皆様

14日(木)に発生した地震に伴う学生の安否確認を行っています。  
所属学部・研究科等の教務担当に、電話又はメールにより安否についてご連絡下さい。既に、所属学部・研究科等から安否の確認を受けた方は連絡不要です。

文学部 096-342-2317 jsj-bungaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
教育学部・教育学研究科 096-342-2522 kyo-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
法学部・法曹養成研究科 096-342-2319 jsj-hogaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
理学部 096-342-3321 szr-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
医学部医学科・医学教育部 096-373-5027 iy-gaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
医学部保健学科・保健学教育部 096-373-5570 skh-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
薬学部・薬学教育部 096-371-4635 sky-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
工学部 096-342-3522 szk-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
社会文化科学研究科 096-342-2326 jsj-daigakuin@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
自然科学研究科 096-342-3013 szd-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

なお、安否確認は次の方法でも連絡できます。手元に学生証を用意し、  
<http://icregdb.kumamoto-u.ac.jp/ttpi/c1.html> から安否確認のページにアクセスしてください。

4月14日に発生した地震(平成28年(2016)熊本地震)により、4月15日(金)の授業を休講にしましたが、4月18日(月)から再開いたします。  
授業を再開する教室は、耐震改修をした安全な建物です。また、地震発生後、更に教室の点検をし、安全であることを再確認しております。  
ただし、身の安全を優先し、通学が無理と判断した場合は、後日、授業担当教員に所定の書式により申し出てください。  
なお、震度5以上の強い余震が発生する可能性もあり、その場合、休講措置を執ることもあります。については、4月17日(日)22時及び4月18日(月)6時に本学HPでお知らせしますので、必ずご確認ください。

教職員各位

教育・学生支援担当理事

4月14日に発生した地震(2016熊本地震)により、4月15日(金)の授業を休講にしましたが、4月18日(月)から再開いたします。  
なお、震度5以上の強い余震が発生する可能性もあり、その場合、休講措置を執ることもあります。については、4月17日(日)14時、22時及び4月18日(月)6時に本学HPをご確認ください。  
なお、学生には、身の安全を優先し、通学が無理と判断した場合は、後日授業担当教員に欠席届を提出するように案内しておりますので、よろしくお願いいたします。

関係各位

地震に伴う漏水・断水状況について(黒髪南北)

標記のことについて、16日未明に発生した地震により建物内給水管が破損し大量に漏水しております。漏水による二次災害を防ぐため以下の建物については建物全てを断水させております。復旧目処は未定です。大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

また、黒髪南北の団地は井戸水を汲み上げているため、現在のところ給水できておりますが、今後の状況によっては使用出来なくなる可能性もあります。必要最低限の水使用に御協力をお願い致します。

16日11時40現在の断水状況

- ・黒髪南E5 自然科学研究科研究棟
- ・黒髪南C3 工学部研究棟 I
- ・黒髪南S6 ペンチャーラボ・衝撃極限環境研究実験棟

各総務担当 各位

お世話になります。  
 昨日下記の通り依頼しておりましたが、昨夜発生した本震により、あらためて安否確認を急いでおります。  
 このメールを確認された場合は、貴所属の教職員について、電話等により安否確認の上、随時ご報告願います。  
 また、建物被害についても状況がわかり次第、併せてご報告願います。

- 【確認事項】  
 教職員の安否確認(死亡、重傷、軽症、不明など)
1. 所属の教職員数(           名)
  2. 無事が確認された教職員数(           名)
  3. 人的被害があった教職員数(           名)
- 【詳細な被害状況】
- (                                               )
4. 連絡が取れない教職員数(           名)

(昨日の依頼メール)-----  
 地震による被害について情報を収集しております。  
 貴所属の全教職員について、電話等により安否確認の上、下記により午前10時までに状況報告願います。  
 なお、今後新たな安否の状況を把握した場合は随時報告願います。

- 【確認事項】  
 教職員の安否確認(死亡、重傷、軽症、不明など)
1. 所属の教職員数(           名)
  2. 無事が確認された教職員数(           名)
  3. 人的被害があった教職員数(           名)
- 【詳細な被害状況】
- (                                               )
4. 連絡が取れない教職員数(           名)

このメールは☆各部局及び各部の総務担当(28.4.16)へ送信しています。

4月16日未明の地震発生により、被害の拡大が予想されます。  
 学生の皆さんは、今後も余震が続き、また、大雨の可能性があるので、各人の身の安全の確保に留意して最寄りの避難所等へ避難するようにしてください。  
 なお、熊本大学黒髪キャンパスおよび大江キャンパスの体育館は、避難所として開放していますので利用してください。また、各人の身の安全の確保に留意して、場合によっては、実家に帰省するなど、自らの判断で対応してください。  
 今後大きな余震が発生した場合は、その都度安否確認システムにアクセスし、登録願います。その他、実際に降参される場合は、安否確認システムのコメント欄に必ず指名の入力をお願いいたします。

Due to the earthquakes which occurred on the 16th of April, we anticipate an expansion of damages.  
 We expect additional aftershocks and heavy rain, so we request all students to please secure your safety and confirm the locations of evacuation zones.

The gymnasium and the athletic field of Kurokami North Campus, and the gymnasium of De Campus are open for the public as evacuation zones, so please feel free to use them.

If another big aftershock will occur, please visit the 'Safety Confirmation Website' and register your information including where you are planning to go.

'Safety Confirmation Website',  
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/taapl/c1.html>

教職員各位

教育・学生支援担当理事

昨日、4月18日(月)以降の授業についてお知らせしましたが、本日未明の地震発生により、4月19日(火)まで、臨時休講とします。  
 なお、4月20日(水)以降の授業については、18日、19日の18時に更新しますので、本学HPをご確認願います。

各部局長 殿

教育・学生支援担当理事

学生の安否確認について(依頼)

標記のことに付いて、ご多忙中大変恐縮ですが、下記内容にて所属学生の安否確認を至急行っていただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 【確認内容】  
 学生の安否確認(死亡、重傷、軽傷、不明など)
1. 所属の学生数(           名)
  2. 無事が確認された学生数(           名)
  3. 人的被害があった学生数(           名)
- 【詳細な被害内容】
- (                                               )
4. 連絡が取れない学生数(           名)

学生の皆様

16日未明の地震に伴い、学生の安否確認を再度行っています。  
 下記、アドレスへアクセスし安否について再度連絡してください。

※手元に学生証を携帯し、  
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/taapl/c1.html> から安否確認のページにアクセスしてください。

To all students

Confirmation of your safety.

Kumamoto University is again trying to confirm the safety of all Kumamoto University students. Confirmation of your safety (16.04.16)

Prepare your student ID card and please access the 'Safety Confirmation Website'.  
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/taapl/c1.html>

International Student Office  
 096-342-2103

教職員各位

教育・学生支援担当理事

4月18日(月)から4月22日(金)までの授業休講について

ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、4月18日(月)から4月22日(金)までの間、授業は臨時休講といたします。  
 なお、現時点では授業再開の目処が立っておりませんので、4月25日(月)以降の授業につきましては、4月22日(金)までに更新しますので、本学HPをご確認願います。

ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、4月18日(月)から4月22日(金)までの間、授業は臨時休講といたします。  
 なお、現時点では授業再開の目処が立っておりませんので、4月25日(月)以降の授業につきましては、4月22日(金)までに本学HPでお知らせいたします。

Classes will be cancelled through Friday, April 22 to ensure the restoration of essential utilities and the safety of the University facilities.

Regarding classes from Monday, April 25, there will be new announcements by Friday, April 22, so please check the University website.

各事務課長 様

おはようございます。  
 経営企画本部の●●です。

この度の地震で公私にわたり大変ご苦労されておられることと思います。心よりお見舞い申し上げます。

さて、本日から業務が始まっておりますが、まだライフラインも復旧しておらず、通常の生活ができておられない方が多くおられることと思います。

このような状況の中、出勤されておられる教職員、また、学生におかれては、本日の昼食等の確保に苦慮されておられる方もいらっしゃると思います。

つきましては、各課(部局)ごとに、食料、水等を必要とする方の数をとりまとめいただき、折り返し別添の回答表で本日の10時30分までにご連絡いただけますよう、よろしく願いいたします。(電話でもかまいません。)  
 必要数につきましては、おおよその数(10人単位)で結構です。

なお、学内の避難所等の支援も併せて行っており、物質に限りがあるため、必要数を全てお渡しすることができない場合もありますので、ご了承ください。

おって、各部局からの回答をとりまとめの上、総務担当にご連絡いたしますので、その後、事務局大会議室に物資を受け取りに来ていただきたいと考えております。

以上、地震の片付け等で大変お忙しいことと存じますが、どうぞよろしく願いたします。

各総務担当 各位

お世話になります。  
 地震発生後の教職員の安否確認にご協力いただきありがとうございます。  
 ご回答いただいたうち安否の確認が出来ていない教職員の氏名について、別添の表により、速やかにご回答願います。  
 お忙しいところ恐縮ですが、よろしく願い申し上げます。

各部局等の長 各位

災害対策本部長

盗難について(注意喚起)

熊本市内において、空き巣の被害が発生しているとの報道がなされています。

各部局等におかれましては、地震による被害状況の把握と復旧にご尽力いただいているところですが、学外者が建物内に出入りすることも想定されますので、くれぐれも盗難等には十分ご留意くださいますようお願いいたします。

また、貴部局等所属の教職員や学生に対しても、貴重品等の管理には十分注意するよう、注意喚起いただきますよう併せてお願いいたします。

※ このメールは☆各部局及び各部の総務担当(28.4.1-)へ送信しています。

平成28年熊本地震により被災された学生の皆様に対して、本学における現在の経済支援をお知らせします。申請を希望される方は、本学の授業再開後に、以下の問い合わせ先まで申し出てください。  
 なお、被災された学生を対象とした授業料免除制度等も検討しているところです。準備ができましたら本学ホームページにてご案内いたします。

学生、教職員の皆様

- ・履修登録期限の延長について  
 ※学部生の履修登録期限(4月21日(木))は延長し、履修登録については、5月9日(月)から5月13日(金)まで実施いたします。  
 ※履修カルテ(教職実践演習)の入力期限は、延期します。  
 (文・教・法・理・保・工の教職実践演習受講者対象)  
 ※社会文化科学研究科の履修登録期限は、延長します。  
 新たな登録期限は、社文研よりおって連絡します。

・行事の延期等について

※次の行事は、延期します。実施日が決定次第お知らせします。

- 4月22日(金) 川崎市学校教員採用選考試験説明会(教育学部対象)
- 4月23日(土)、24日(日) TOEIC-IPテスト
- 4月23日(土) 開放制学部教育実習事前指導(教育学部以外対象)
- 4月23日(土) 新入生のための学生生活支援講座(教育学部対象)

※次の行事は、中止です。

- 4月20日(水)、4月22日(金) 公務員試験対策講座の「受講生募集ガイダンス」

※ 講座の申込受付期間については、5月9日(月)以降に延期となります。期間が決定次第、熊大生協のSNS及び大学生協内の掲示にてお知らせ致します。

教職員 各位

教育・学生支援担当理事

5月6日(金)までの授業休講について

4月14日(木)夜及び16日(土)未明の地震発生に伴う、ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、5月6日(金)まで授業は休講いたします。  
 なお、5月9日(月)から授業を再開いたします。(履修登録については、5月9日(月)から13日(金)まで実施いたします。)



各部署等の長 各位

災害対策本部長

復旧に必要な検討事項の洗い出しについて（提出依頼）

本日の部局長等連絡調整会議において、「平成28年熊本地震」に速やかに対応するため、関連部局で対策チームを設置し、今後取り組む事項について、緊急度及びいつまでに何に取り組むかを設定いただき、本学の通常業務の復旧に向けて取り組むことを告知しました。

ついては、関係部局において、対策チームを設置していただき、明日4月19日（火）17:00までに構成員の提出をお願いします。

また、対策チーム設置後、本学の復旧に向けて取り組む事項について、緊急度を設定し、いつまでに、何に取り組むのかをご検討の上、添付ファイル「160418【提出依頼】復旧検討事項」の様式に必要な事項を記載し、ご提出をお願いします。

※ゲーム設置後、提出できる事項から構いませんので、復旧検討事項の提出をお願いします。

いただいた情報をもとに本学の復旧に向けた工程表を作成し、共有しますので、復旧検討事項に記載した事項の進捗状況については、毎日17:00までに定時報告をお願いします。

なお、添付ファイルの取組事項及び緊急度については、例示でございますので、取組事項の追加や緊急度は各部署の判断で設定していただいて構いません。

検討チームの構成員及び検討事項については、「経営企画本部」及び「運営基盤管理部総務課」宛にご提出をお願いします。

4月14日（木）夜及び16日（土）未明の地震発生に伴う、ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、5月6日（金）まで授業は休校いたします。  
なお、5月9日（月）から授業を再開いたします。  
（休校登録については、5月9日（月）から13日（金）まで実施いたします。）

（お願い）

学生の身の安全を少しでも早く確認するため、安全確認システムへの入力をお願いします。

※ 手元に学生証を用意し、以下のアドレスから安全確認のページにアクセスしてください。

<http://ecregdb.kumamoto-u.ac.jp/taapi/c1.html>

部局等の長 各位

災害対策本部長

建物の損傷状況の巡回について

熊本地震によって損傷した建物の確認を行うため、本日（4/19）午後以降、順次現場を巡回いたします。

ついては、本日（4/19）午後以降、各部局長がご対応できる日時をご連絡いただきますようお願いいたします。（部局長の日程が確保できない場合は、副部局長でもかまいません。）  
なお、損傷が軽微で巡回不要の場合は、その旨ご連絡願います。

【巡回日程】4/19（火）午後～4/22（金）

《回答例》4/19（火）14:00～、4/20（水）午前中 対応可能

※巡回は、学長と関係理事が行いますが、部局の負担にならないよう最小限でご対応ください。

※各部局長におかれましては、特に損傷が大きい箇所へご案内いただきますようお願いいたします。

授業料の口座振替の延期について

平成28年度前期分授業料について、地震による影響を鑑み、4月27日（水）に予定していた授業料の口座振替は中止し、予備日の5月27日（金）に延期します。

なお、被災により納入が困難となった学生を対象に授業料免除制度を検討しております。準備ができましたら本学ホームページにてご案内いたします。

平成28年熊本地震に伴い、奨学金の申請受付期間や返済書類の提出期限等の一部変更します。詳細は、熊本大学ポータル掲示板（学外からスマホ閲覧可）で確認してください。

1. 日本学生支援機構奨学金

1) 学部1年次

○在学採用（大学で新規申込み） ※変更あり

受付日：4月28日（木）・5月2日（月）→5月17日（火）・18日（水）に延期

○予約採用（高校で申込み）

・インターネット未入力の方

4月24日（日）までに入力 →5月16日（月）初回振込

4月25日（月）～5月26日（木）までに入力 →6月10日（金）初回振込

※関係書類が手元がない方やインターネット入力が出来ない環境の方は、学生本人が至急経済支援担当まで連絡してください。

・大学からユーザID・PWを未受領の方

※学生本人が至急経済支援担当まで連絡してください。

2) 学部2年次以上（編入学生含）及び大学院生の在学採用（新規申込み） ※変更なし

受付日：5月10日（火）～12日（木）

3) 大学院生（予約申込みの4月採用者）

・進学届（インターネット入力）を4月8日までに入力した方

返還締約書等を5月9日（月）に配付予定

※郵便事情で配付遅延の場合は、5月2日（月）にポータル掲示板で周知します。

4) 別科生及び専攻科生（新規申込み） ※変更あり

受付日：4月26日（火）→5月9日（月）に延期

2. 各種奨学金（地方自治体、企業等の奨学金）の申請予定者

※受付名簿に記入された方は、提出期限の延長を地方自治体等へ交渉しています。

期限が切迫している方には、大学から学生本人の携帯へ個別に連絡します。

3. 授業料免除・入学料免除申請に関する不足書類について

※提出期限を延長します。 →5月9日（月）～5月13日（金）8:30～18:15

各部署の事務担当 御中

復旧のための対策チーム名簿及び復旧工程について、本日（4/20）の災害対策本部会議で配付した資料を共有いたします。

当面の間、このような形で情報共有していきますので、復旧に必要な検討状況について、本日（4/20）17:00までの定時報告をお願いします。

本学では一日も早い授業の再開を目指して取り組んでおりますが、現在のところ授業再開は5月9日（月）を予定しております。

その際、備蓄されている地元大学の協力を得て、各大学の附属図書館が利用出来ます。

授業再開の際、なるべく早く通常の教育環境に戻っていただくためにも、学生の皆様には無理のない範囲で主体的な学習等に取り組んでいただきますようお願いいたします。

詳細は以下のHPで案内しております。

なお、今後も賛同大学が増えたら更新してお知らせします。他大学のご好意により、以下の図書館サービスを受けられます。

教職員各位

環境安全センター長

地震によって発生した廃棄物の排出方法について(通知)

今回の熊本地震により、多量の廃棄物が発生していると思われるので、その排出方法と収集の現状について下記の通りお知らせ致します。

記

1. 一般廃棄物(リサイクル原料)について  
対象:可燃物、不燃物、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、びん、金属ごみ  
通常通り収集をしております。所定の廃棄物集積所に集積をお願いします。  
ただし、実験用のごみについては絶対に混在させないでください。

2. 部局対応の廃棄物について  
対象1:古紙類、大型ごみ  
各部局指定の場所に集積して処分をお願いします。  
対応可能な収集業者が見つからない場合はご相談ください。

対象2:感染性廃棄物、その他の産業廃棄物  
各部局にて適正に保管して処分をお願いします。特に感染性廃棄物は  
厳重に取り扱いをお願いします。  
対応可能な収集業者が見つからない場合はご相談ください。

3. 環境安全センターが処分する廃棄物について  
対象1:蛍光灯(LED含む)、電池、鉛蓄電池、水銀計類、有害汚泥  
近日中に、数量調査を行いますので、当面は保管をお願いします。  
割れた蛍光灯なども収集できます。水銀計類や有害汚泥はできるだけ  
密閉して保存ください。

対象2:実験廃液  
有害物質(実験廃液貯留スキーム参照)と2回までの洗浄液は  
実験廃液としてポリタンクに保存してください。  
ポリタンク不足分は可能な限り手配しますのでお知らせください。  
(ポリタンク単価契約先:ツシダ理研、TEL 096-372-2669)  
現在、収集業者の人員の手配が難しく、別業者による収集も検討しております。  
未収集の本荘・大江地区の実験廃液は早急に収集できるように調整しております。  
今後毎月1回の収集が維持できるよう調整しますので、YAKUMOへ入力をお願いします。  
漏水などで多量に発生した排水も対応しますので、その場合は個別でご相談ください。  
実験廃液の分類は以下URLをご参照ください。  
[http://www.esc.kumamoto-u.ac.jp/haleki/haleki\\_2.html](http://www.esc.kumamoto-u.ac.jp/haleki/haleki_2.html)

対象3:不用薬品  
近日中に、数量調査を行いますので、当面は保管をお願いします。  
瓶が割れた薬品は実験廃液とするか、他の容器に移し替えて内容物が  
分かるように表示してください。

対象4:実験廃棄物(黒髪地区のみ)  
実験廃棄物は絶対に一般の廃棄物に混在させないでください。  
液状のものではできるだけ取り除いて、液漏れのおそれがある場合は  
2重にポリ袋に入れて排出してください。

関係各位

(通知)エレベーターの復旧について

運営基盤管理部  
施設管理課長

日頃より施設管理について、ご協力いただきありがとうございます。

権記の件、地震によりエレベータを全面的に停止していましたが、専門業者による確認が一部を除き完了しました。つきましては、使用可能なエレベーターについて別添の資料によりお知らせします。

資料中のの機器については通常通り使用できます。×の機器については地震による不具合が発生しており、当面の使用ができません。また、復旧時期についても今のところ未定です。また、小荷物専用昇降機については現在確認作業中です。

教職員 各位

副学長(入試担当)

平成28年度オープンキャンパスの中止について(お知らせ)

平成28年度のオープンキャンパスについては、平成28年熊本地震の影響により開催の確保が困難と判断したため、「中止」とすることを決定いたしましたのでお知らせします。

熊本大学の教職員の皆さま

大きな地震とその余震で、皆さま方には不安なお気持ちで、お忙しくお過ごしのことと存じます。

さて、五高記念館ですが、煙突が折れ、壁に亀裂が入り、内部のアーチも漆喰が落ち、一部レンガも外れて大きな構造的なダメージを受けました。正面から見る限り、あまり変わらないように見えますが、次に大きな余震がくれば、さらに損傷が進み、壁の崩落などの事態も予想されます。

化学実験場も同様の損傷を受けています。

現在は、五高記念館・化学実験場ともに周囲に立ち入り禁止のテープが張り巡らされています。決して建物に近づかないようお願い申し上げます。

記念館内の展示物については、大きな余震の後、漱石関係資料の一部を運び出しておりましたが、昨日、学部長・水元先生をはじめとする文学部のたくさんの先生方のお力で主要な展示物は取り出しいただき、現在はお隣様で安全な場所に保管できている状況です。有難うございました。

黒髪南キャンパスの重要文化財・工学部研究資料館も壁・柱に亀裂が入り構造的な損傷が大きく危険です。

キャンパス内の重要文化財はたとえ全壊しても、お金さえあれば修理ができます。余震が続くなかで皆さまにはどうか五高記念館・化学実験場・工学部研究資料館には危険ですのでお近づきにならないようお願い申し上げます。

各部局等の総務担当 御中

お世話になっています。  
運営基盤管理部総務課総務担当です。

教職員の安否確認については、お忙しいところご対応いただき、ありがとうございます。  
常勤職員については、全員「無事」を確認できました。

なお、引き続き、有期雇用職員についても安否を確認いただき報告をお願いします。

教職員各位

教養教育機構長

2016年度教養教育カレンダー・行事予定表の修正版について(通知)

教養教育の実施にあたりましては、日頃からご協力いただきありがとうございます。  
さて、この度の熊本地震の発生に伴う休講措置により、教養教育カレンダー・行事予定表を別紙のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

関係各位

標記のことについて、本日(4/22)、専門員による調査を行います。

被災した建物の余震による倒壊の危険性、及び落下物の危険性等を判断し、当該建築物の今後の使用可否を判断するものです。

地震発生後の当初に行った外観による応急危険度判定の結果、詳細調査が必要と判断された以下の建物について実施します。

(本荘北団地)

- ・外来臨床研究棟(東)
- ・医学部臨床研究棟
- ・医学総合研究棟
- ・医学教育図書棟

(本荘中団地)

- ・エイズ学研究センター、生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館
- ・発生医学研究所
- ・生命資源研究・支援センターR1総合施設、遺伝子実験施設

(京町団地)

- ・附属小学校管理棟
- ・附属小学校校舎A棟
- ・附属小学校校舎B棟

(黒髪団地)

- ・黒髪南C2(工学部1号館)
- ・黒髪南E5(自然科学研究科研究棟)
- ・黒髪南C8(工学部2号館)

調査の結果は、調査終了後、結果がまとまり次第再度お知らせいたします。

また、その他の建物における構造に関する柱・壁のクラックなど確認については、週明けの4/25より、順次行うこととしております。  
その際は、各部局の担当者様へ立会をお願いすることになりますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。このことについては、別途お知らせいたします。

皆様には、余震が続く中、大変不安な状況にあると思いますが、よろしくお願いいたします。

各部局及び各部の総務担当 御中  
各部局の経理担当等 御中

おつかれさまです。  
施設企画課の●●です。

部局の皆様におかれましては、5月9日からの授業再開に向けて、現在復旧作業等を進められていることと思われます。

授業再開に最低限必要な講義室や講義室までの動線等において、現在安全でないと思われる箇所があれば、部分的に立入規制をするなどの緊急対応を部局にお願いしているところですが、どうしても部局側で対応することが難しいものがある場合には、週明け25日(月)17時までには本担当までご連絡ください。

なお、すでに部局と調整し対応を進めている下記の建物については、連絡不要です。

- <報告不要>
- ・工学部2号館
  - ・附属小学校A棟・日棟

熊本地震復興事業基金の設置について

平成28年熊本地震により被害を受けた熊本大学の建物、国指定重要文化財等の復興事業に取り込むため、別紙案内(添付ファイル)のとおり従来の熊本大学基金に「熊本地震に語る復興事業基金」を設置しましたので、お知らせします。  
なお、同案内は本学ホームページ及び熊本大学基金ホームページに掲載しています。

教職員各位

施設企画課資産管理担当からです。  
このたびの震災で、被災された皆さまとご家族さまへ心よりお見舞い申し上げます。  
標記につきまして、本学が所有する職員宿舍のうち、東町南住宅及び渡鹿住宅の入居募集を行います。

については、下記の記載内容をご確認いただき、入居を希望される方は別添「職員宿舍入居申込書(様式1)」及び「自宅の被害状況等が確認できる書類(提出任意)」を4月25日(月)までに運営基盤管理部施設企画課資産管理担当へお申し込みください。  
ただし、入居可能な戸数には限りがありますので、申込多数の場合は要件等を確認し、入居者を決定させていただきますので、ご希望に添えない場合があることを何卒ご理解ください。

また、現状では「allメールリングリスト登録者全員」によるメール周知での対応しか出来ないため、allメールリングリスト未登録の方や現在でも本メールを確認できない状況下であり、住居を必要とされている教職員の方をご存じでしたら、是非、本件をご案内いただきますようお願いいたします。

教養教育授業担当教員 各位

平素より教養教育の推進にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
学務課教養教育担当です。

昨日、下記メールにてお知らせいたしました「教養教育カレンダー・行事予定表」について改めて重要なお知らせをいたしました。

このたびの熊本地震に伴い、本学では、5月9日(月)から授業を再開する予定です。  
なお、4月15日(金)から5月6日(金)までを臨時休講とすることに伴い、教養教育では、添付ファイル「教養教育カレンダー・行事予定表」とおり授業日を変更して実施いたしますので、ご協力くださるようお願いいたします。(変更があるのは、前学期・第1ターム・第2タームの科目のみです。)

また、授業実施において、以下の点にご留意くださるようお願いいたします。

※一人でも多くの方に、この情報を確実にお知らせしたく、このメールをお知り合いの本学先生方、非常勤講師の方へぜひご転送をお願いいたします。

ご不明な点等あれば、お手数ですが、本担当までお問い合わせくださるよう併せてお願いいたします。

記

- 4月15日(金)から5月6日(金)までを臨時休講とするため、8月22日(月)から9月2日(金)までを授業日とします。この期間も授業を寒湿してください。
- 「教養教育カレンダー・行事予定表」記載の予備日(6月27日(月))は、ターム科目の調整日であり、ゼミターム科目の授業日ではありませんので、ご留意ください。
- 従来の授業スケジュールと比較して、補講日の日数が減っております。そのため、前学期、第1ターム及び第2タームの科目については、「教養教育カレンダー・行事予定表」に記載の補講日(8月9日(火)及び10日(水))で実施が難しい場合は、随時6時限目に補講を実施してください。
- 被災のため、欠席及び教科書を所持していない学生については、ご高配置います。(出席、課題、プリントの配付等)

黒髪北・南地区  
関係各位

【依頼】(黒髪北・南地区)都市ガス復旧における漏洩点検について

運営基盤管理部  
施設管理課長

日頃より施設管理について、ご協力いただきありがとうございます。

下記の件、現在地震により都市ガスの供給が停止されているところですが、昨日専門業者により、黒髪北・南地区のすべてのメーターにおいてバルブが閉止されました。これを踏まえて、下記日程により団地内のすべてのガス設備の漏洩点検が行われます。漏洩点検に際し、ガスを使用するすべての部屋に入る必要があります。つきましては、職員の皆様のご協力をお願いいたします。

記

期 日	平成28年4月25日(月)～ (点検期間は2週間程度を予定)
時 間	8:30～17:00
点 検 者	一般社団法人 日本ガス協会
部局の皆様への依頼業務	点検への同行、部屋の解放

各部局及び各部の総務担当 御中  
各部局の総務担当等 御中

おつかれさます。  
施設企画課の●●です。

熊本地震による被害状況につきましては、これまで各部局等よりご報告いただきありがとうございます。

現在施設担当部では建物の緊急危険度判定、その他被害状況調査及びライフライン等の復旧に向けての作業を進めておりますが、各部局等からの報告を併せても施設の被害状況をすべて確認するに至っておりません。

そこで、九州管内の施設部課に施設職員の派遣を要請し、4月25日(月)から28日(木)までの期間、複数名の施設職員を派遣していただくこととなりました。

施設職員の人員が確保でき次第、順次各建物(各部屋)に立入調査を実施いたします。

4月25日(月)は、以下の建物について調査を実施いたします。  
事前に施設部の調査担当者から、各部局等の事務担当にご連絡しますので、ご協力をお願いいたします。

[黒髪北]  
附属図書館中央館  
附属図書館南館  
保健センター  
黒髪北C1(共用棟黒髪5)  
黒髪北N4(文法学部B講義棟)

[黒髪南]  
黒髪南E1(理学部1・2号館)  
黒髪南E2(理学部総合研究実験棟)  
本部棟  
車庫

[本荘北]  
基礎医学研究棟  
臨床医学教育研究センター

[本荘中]  
エイズ研究センター  
動物資源開発研究施設新館・本館

[大江]  
薬学部本館、他

※病院施設については、附属病院事務部施設課が調査を実施いたします。

まだまだ余震も続いているため、当日の調査の進捗状況等によっては、26日(火)以降に調査を繰り送る建物があるかもしれませんので、その旨ご了承ください。

教職員 各位

男女共同参画推進室

託児の実施について(お知らせ)

この度の地震のため、保育園・幼稚園・小学校・中学校等が休校になることから、お子様を持つ職員の方の就業に支障が生じております。

つきましては、4/26(火)、27(水)、28(木)の期間につきまして、本学が外部の保育機関に依頼して託児を実施しますので、お知らせいたします。(詳細は添付の実施要領をご覧ください)

なお、託児を希望される方は、添付の申込書にご記入のうえ、本日(4/25・月曜)15時00分までに、男女共同参画推進室宛(gender@jimu.kumamoto-u.ac.jp)にメールで申し込みをお願いします。

このたびの平成28年熊本地震により、災害救助法適用の地域で被災された世帯の学生で、専攻変更のため進学が困難となった学生に対して、授業料免除を実施します。

以下の「免除の対象者」に該当し、申請を希望される方は、末尾のアドレスへアクセスし、授業料免除の仮申請を行ってください。仮申請者は、5月27日（金）の前期分授業料口座振替は行いません。本申請は、授業再開後、以下の申請期間内に必要書類を提出することにより、受け付けを行います。

（免除の対象者）

- ・学費を主として負担している方が災害救助法適用地域に居住し、市区町村長又は消防署員が証明する「り災証明書」により、その家屋等が全壊、大規模半壊、半壊、一部壊壊等であると証明された方
- ・学費を主として負担している方が震災により死亡（行方不明を含む。）した場合

（申請期間及び申請場所）

- ・仮申請 本学ホームページ掲載後～5月12日（木）まで
- ・本申請 5月9日（月）～5月20日（金） 学生支援部学務課経済支援課担当まで

（必要書類）

- ・震災特別仲絶業料免除申請書（後日ホームページに掲載予定）
- ・公的機関発行の「り災（被災）証明書」（コピー可）
- ・学費負担死亡（又は行方不明）の場合は、それを確認できる書類
- ※「り災（被災）証明書」は発行までに時間がかかります。お住まいの市区町村へ、早めに申請してください。提出が遅れる場合は、本申請期間内に「申請した証明」の提出をお願いします。

【仮申請の方法】

※手元に学生証を用意し、  
<http://ecregdb.kumamoto-u.ac.jp/itap/school01.html>  
 から免除仮申請のページにアクセスしてください。

- ・ログインID（熊本大学ID）の確認方法について  
<http://www2.cc.kumamoto-u.ac.jp/cas2014/>

・パスワードが分からない場合は、096-342-3949 にご連絡ください。

震災に伴う学内無料法律相談（予約制）の実施について（お知らせ）

熊本大学法科大学院（附属臨床法学教育研究センター）では、今回の震災に伴い本学の実務家教員（弁護士）による教職員向けの学内無料法律相談を以下の要領で実施しますのでご案内します。（秘密は厳守いたします。）

記

- 日 時 平成28年4月28日（木）午後6時から午後8時までの2時間
- 時 間 お一人30分間（事前の予約の電話の際に、相談時刻を決定します。）
- 場 所 附属臨床法学教育研究センター（ローセンター）  
 黒髪北地区 共用棟黒髪6 F棟4階  
<http://www.ls.kumamoto-u.ac.jp/clinical.html>
- 相談の予約受付  
 平成28年4月27日（水）及び28日（木）の午前10時から午後4時まで  
 （先着順に予約を受付け致します。）
- 相談受付電話番号  
 法律事務所電話番号ですので、予約申込の際は、  
 『熊大教職員法律相談の予約』と伝えて申し込んでください。  
 TEL 096-363-7118
- 相談内容  
 民事、家事等。ただし熊本大学を当事者とする事件を除きます。
- 参 考  
 熊本県弁護士会ニュース（災害Q&A）  
<http://www.kumaben.or.jp/news/2016/04/ga.html>

学生並びに保護者の皆様へ

この度の「平成28年熊本地震」におきまして、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、学生並びに保護者の皆様におかれましては、生活面等全ての前におきましてご不安な点があるかとお察し申し上げます。

現在、私どもは、学生の皆さんお一人おひとりの不安な事等に対して、いろいろなケアや支援を検討しているところであり、できるだけの対応をしております。私ども本学としては、一日も早く授業等を再開し、学生の皆さん自身の生活を通常の日常生活にすることを最優先事項に据えて、教育課程の復旧に努めているところです。

つきましては、5月9日（月）からの授業再開に向けて学生の皆さんが安心して大学生活に専念できるよう、学生の皆さんの被災状況（傷病、住居の状況）の調査を実施することとしました。尚、詳細の調査が随分実施されており、進捗を把握しているところがあるかとありますが、上記調査をご理解いただき、以下のサイトから、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、細かいことは、授業再開のための準備の機会上、4月28日（木）とさせていただきます。決断が早く状況下で、皆様にご負担を強いることとなり、誠に申し訳ございませんが、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

職員各位

学務課長

震災でメンタルヘルスの不調をきたしている職員への対応について（通知）

平成28年熊本地震により被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。熊本大学では、震災でメンタルヘルスの不調をきたしている職員及び有期雇用職員（准し、TA、RA等学生の身分を有する者、非常勤講師、派遣職員を除きます。）の方に、下記の窓口がご利用いただけます。

記

- 学内相談窓口  
 なんでも健康相談  
 本学非常勤保健師（女性）が対応します。  
 相談は予約優先とし、予約は学務課職員厚生担当へお願いします。  
 毎月第2金曜日13時～17時（月1回）  
 場所：附属病院新管理棟3階応接室1
- 外部相談窓口（震災に伴う臨時の窓口）  
 独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター  
 ・ 窓口、電話、メール等でご相談に応じ解決方法を助言します。  
 専門のカウンセラーの出動日が決まっていますので、事前に予約をいただき相談願います。  
 連絡先  
 〒860-0806 熊本市中心区花畑町9-24 住女生命熊本ビル3階  
 TEL:096-353-5480 FAX:096-359-6506  
<http://www.kumamoto-os.johas.go.jp/>  
 E-Mail:ksanpo43@kumamoto.os.johas.go.jp

震災後の電気設備の使用について（注意喚起）

この度の震災により、貴分野及び部科内にて通常業務へ向けた復旧作業を進められていくことと思いますが、標記のことについて注意していただきたい項目を下記に示しますので、貴分野・部内に周知されると共に、安全管理等に支障のないよう御配慮願います。

記

1. 震災後、初めて電気機器を使用する際には、目視等により機器及び配線に損傷や水濡れがないことを確認してから、電源を入れるようにしてください。震災によって明らかに損傷を受けたり、水に濡れたりして壊れてしまった電気機器は、漏電・火災等の原因となりますので、コンセントからプラグを抜くか、ブレーカーを切るなどして、使用しないでください。
  2. ガスのにおいがするときは、ガスの元栓を閉めるなどして、電気機器を使用しないでください。引火の原因となることがあります。
- その他、電気設備の使用について不明な点があれば、下記担当へ御連絡願います。

教職員各位

副学長  
(教育・学生支援担当)

本学被災教職員・学生への情報提供について

このたびの熊本地震発生後、教職員の皆様おいては復旧に向け、日々、ご尽力のことと思います。

東北大震災を経験された方から、貴重な情報(参考事例)をいただきました。熊本の地震の被災者の方も「知っておくと良いと思われる内容を情報共有の観点からお知らせしますので、今後の被災学生への支援等へご活用ください。

\*\*\*\*\*

(1) 罹災(りさい)証明

店舗、家、地震により被害を受けたものを写真に残してください。後に行政の方が全壊、半壊等の診断をしにいらっしゃいます。それまで時間がかかるため、片付け後や復旧後に診断されてしまうと全壊と判断されるべきものも、半壊と判断される恐れがございます。

◆後に行政から『罹災証明書』と言う“被害があった証明書”が発行されるのですが、この診断を元に発行される証明書なので、その後の助成金や税金免除等、全てのことに大きく関わります。

(2) 返済を止める

銀行、公庫等で、返済の一時停止手続きをしてください。天災なので、半年～1年程、返済を一時停止できる可能性が高いそうです。後に混み合い、混乱する可能性があります。お早めの手続きをお勧め致します。

◆東日本大震災時、これをせずに、収入がない中支払いだけが続き資金繰りに苦しんだ方がたくさんいらっしゃいます。

(3) 家賃交渉

管理会社によっては、家賃の支払いを一時停止していただける場合もあります。半月～2ヶ月分程、止めて頂いたと言う事例もあります。

◆営業を再開するまで、或いは保証金からの支払い等で対応して頂いた方もいらっしゃいますので、ダメ元でも交渉する価値はあるかと思えます。後々の為、少しでも現金を残せるよう勤めて頂ければと思います。

(4) 復旧事業費補助金

復旧に必要な修繕費等の補助もしてくれる制度です。熊本でも、後にこのような補助金制度が設けられる可能性が高いかと思えます。東日本大震災時は、雇用している従業員給与の6割程が支給されました。

4月29日(金)～5月8日(日) 期間中は、全学教育棟での教育支援・学生支援・就職支援のため、面談時に窓口を開けておりますのでお知らせします。(5月2日(月)及び5月6日(金)は通常業務)

■ 開設時間 9:30～17:15

なお、教育支援として、連休期間中は次のとおり利用できます。

- 全学教育棟のC103自習室、C106自習室 (利用時間 8:30～17:00)
- 図書館(中央館) 5月2日より1階ラウンジコモンズを利用できます。
- 【平日】5月2日、6日(利用時間 10:00～18:00)
- 【土・日・祝日】5月3～5日、7～8日(利用時間 12:00～18:00)
- 詳細は、図書館のサイトのお知らせをご覧ください。  
<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/1929>

▶ 就職支援(5月3日～5日)はこちらから

教職員各位

副学長  
(教育・学生支援担当)

本学被災教職員への情報提供について(官邸情報)

このたびの熊本地震発生後、教職員の皆様おいては復旧に向け、日々、ご尽力のことと思います。

首相官邸ホームページに「熊本地震被災者の皆さまへ 政府応援情報」が掲載されています。

情報共有の観点からお知らせしますので、ご一読いただきご活用ください。

[http://www.kantei.go.jp/jp/headline/saigai/kumamoto\\_hisai.html](http://www.kantei.go.jp/jp/headline/saigai/kumamoto_hisai.html)

5月9日(月)から予定どおり授業を再開します。

帰省中の学生は、早めにアパート等の状況を確認してください。

5月9日(月)の授業再開までに住居の確保が困難な場合は、大学へ連絡して下さい。

なお、現在授業再開に向けて「被災状況並びに通学見込み等に係る調査」を全学生対象(必須)に実施しています。

- ・未回答の学生は至急回答をお願いします。
- ・既に回答した場合もその後状況に変更が生じた場合は、再度回答をお願いします。(内容が更新されます。)

「被災状況並びに通学見込み等に係る調査」[ここ](#) をクリック

※履修登録については、5月9日(月)から13日(金)まで実施します。

教員各位

副学長(教育・学生支援担当)

授業再開に伴う学生への配慮について(依頼)

確認のことについて、各教員におかれましては「平成28年熊本地震」への対応等で大変な状況にある中、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

教養教育の授業の再開に当たっては、実験・実習ができない場合の座席への代替措置、また、被災のための居住環境が整わず欠席する学生や教科書等を準備できない学生に対しては、レポートの提出又はレジュメによる授業など、事情に応じた個別の対応を予定しております。

については、専門教育の授業再開後、上述の学生に対してご配慮いただきますよう、ご協力よろしくお願いたします。

なお、「地震発生時の基本的な対応および教育・学生支援にかかる問合せ先一覧」を添付ファイルのとおりお知らせします。

各学部長・教育部長・研究科長  
 教養教育機構長

大学教育統括管理運営機構長  
 古島 幹雄

授業再開に係る授業への出欠状況調査について(通知)

標題のごとくにつきまして、この度の地震発生後、休講しておりました授業を再開するにあたり、教養教育の必修科目である「情報基礎A」(1年次)の受講者を対象に、5月9日(月)から5月20日(金)の2週間における出欠状況を調査いたしますことをお知らせします。

なお、調査結果につきましては、現在実施しております「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の結果を踏まえて、後日ご報告します。

また、各部署におかれましては、次の点について可能な限り対応をお願いします。  
 ① 学部4年次以上の学生の出欠状況(5月9日から2回連続して欠席した者)について、当該学生の状況の把握。本学の全学生の状況を把握したいので、5月31日(月)を目標に対処状況をお知らせください。  
 その際、メンタルケアが必要と思われる学生に対しては、学生支援部内の学生相談室又は学生支援室が対応しておりますので適宜指示していただきますようお願いいたします。  
 ② 授業担当教員は可能な限り Moodle 等を活用し、学生の主体的な学習環境を整えていただきたい。  
 ③ 質疑に際しては、課題等を調べて成績評価において「レポート点」として評価するなど、主体的学習に対する評価の視点の可能な限り取り入れてほしい。

おって、参考までに現時点(5月8日現在)の当該調査への回答状況を別添資料のとおりお知らせしますので、学生に対し、本調査への回答についてご指導方よろしくお願いたします。

教職員 各位

図書館中央館の部分開館についてお知らせします。

附属図書館中央館では、5月2日(月)から本学学生に対して1階ラーニングコモンズを開放していたところですが、授業再開の昨日9日(月)から教職員・一般利用者の皆様にも1階・半地下エリアに限定して開館し、本日10日(火)から更に利用できるエリアを拡大しましたので、お知らせします。  
 利用できる時間帯とエリアは次のとおりですが、引き続き「余震」が続いていますので、下記注意事項にご留意の上、ご利用ください。

○開館時間(当面の間)  
 【平日】8:40～18:00  
 【土・日曜日】12:00～18:00

○利用場所  
 (5/9より)  
 1階:ラーニングコモンズ・PCコーナー  
 1階:南棟  
 半地下:多目的ラウンジ  
 (5/10より)  
 2階:閲覧室・PCコーナー (一部、立入禁止エリアがあります)

※ 資料の閲覧・貸出のために本棚の間に立ち入る場合は、図書館備え付けのヘルメットを着用してください。  
 また、強い揺れを感じた場合は、直ちに本棚から離れてください。  
 ※ 余震の状況により、事前の予告なく変更される場合があります。

なお、地下書庫につきましては、安全確保の点から引き続き立ち入りを禁止いたします。

関係各位

お世話になります。総務課の●●です。  
 先程お電話した備蓄倉庫の在庫数量の確認依頼です。

この度の地震に伴い、各大学等から届いた支援物資の在庫分について、各備蓄倉庫の在庫状況に応じて配分する予定です。  
 つきましては、5月13日(金)に各備蓄倉庫にお届けする予定にしておりますので、明日12日(木)の午前中までに現時点の在庫数量を別添の「現在庫」欄(赤枠)に入力の上、総務課へご回答願います。  
 また、新たな品目の受入がある場合や期限が近づいているものがある場合は、項目を追加したり、コメントを付記してください。  
 なお、別添ファイルの各数量は備蓄倉庫設置(備蓄品導入)時の数量です。お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願いたします。

各部署及び各部の総務担当 御中  
 各部署の経理担当等 御中

おつかれさまです。  
 施設企画課の●●です。

4月下旬から5月上旬にかけて実施した熊本地震による被害の概要を把握するための施設調査につきましては、部局のみなさまにご協力いただき誠にありがとうございました。

引き続き、来週5月16日(月)から6月3日(金)までの間、被害状況の詳細を把握するため、再度施設調査を実施いたします。

なお、前回の調査同様、今回も九州管内の大学の施設部課に施設職員を派遣していただき、本学の施設部職員と一緒に各施設に調査に入ります。

事前に本学施設部の調査担当者から、調査対象部局の事務担当にご連絡しますので、ご協力よろしくお願いたします。

調査は、以下の順序でキャンパス毎に実施する予定です。  
 以下に記載されていないキャンパスの調査期間及び調査順は未定です。

- 1) 本荘中キャンパス
- ↓
- 2) 本荘南キャンパス
- ↓
- 3) 本荘北キャンパス
- ↓
- 4) 大江北キャンパス(薬学部)
- ↓
- 5) 京町キャンパス
- ↓
- 6) 城東町キャンパス
- ↓
- 7) 黒髪キャンパス

※ 病院施設については、附属病院事務部施設課が調査を実施いたします。

またまた余震も続いているため、調査の進捗状況等によっては、調査順など計画の見直しを行うかもしれませんので、その旨ご了承ください。

## (2) 主な取り組み(前震から1年間)

年 月	日時及び主な取り組み (○は附属病院に関するもの)
28年4月	<p>14日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 21:26 <b>地震発生(前震)</b></li> <li>● 21:40 附属図書館中央館利用者約100名を館外へ誘導</li> <li>● 21:50 附属図書館中央館閉館</li> <li>● 22:00 大学に残っていた職員が学生をグラウンド等に誘導</li> <li>○ 22:05 附属病院：ガス(中圧・低圧)の供給停止、水供給停止、停電なし</li> <li>○ // 附属病院：「災害対策本部」設置、救急患者受付(トリアージ)体制を整備</li> <li>● 22:30 参集可能な職員により大学の被災状況等を確認</li> <li>○ 22:40 附属病院：患者受け入れ開始</li> <li>● 23:00 黒髪キャンパスの体育館、グラウンド及び大江キャンパスの体育館を一時避難場所として開放</li> <li>● // 国際交流会館の被災状況を確認</li> <li>● 23:30 4月15日(金)の休講を通知</li> <li>● // 備蓄倉庫から毛布、防寒シート、カンパン等を体育館へ搬入し提供</li> <li>● // 武夫原グラウンドに避難している学生を体育館に誘導</li> </ul> <p>15日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ~翌朝 避難してくる学生及び住民への対応にあたる(体育館及びグラウンド)</li> <li>○ 0:10 附属病院：第1回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 患者受入れの体制</li> <li>■ 職員の安否確認</li> <li>■ 予定通りの手術の実施</li> </ul> </li> <li>● 2:15 地震に伴う学生関係行事の中止等についてHP掲載</li> <li>● 10:00 第1回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 総務班、広報・情報収集班、被災者対策班等の災害対策班を設置</li> <li>■ 学生、教職員の安否及び建物、設備等の被害状況の把握を指示</li> </ul> </li> <li>● 12:00 黒髪北キャンパス、大江キャンパス及び京町キャンパスのガス一部供給停止</li> <li>○ 12:30 附属病院：東病棟、西病棟断水</li> <li>● 13:00 人的、物的被害状況及び一時避難場所の状況等を文部科学省に報告 (以後、6月7日(火)まで18回報告)</li> <li>● 14:00 文部科学省に遺伝子組換え生物の漏出等の事態は生じていない旨第一報</li> <li>● 15:00 五高記念館、工学部研究資料館、化学実験場への立入禁止及び周辺の立入を規制</li> <li>● // 学生の安否確認についてHP掲載</li> </ul>



年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 16:00 第2回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、ホームページでの被害状況に関する広報内容を確認</li> <li>■ 16日（土）、17日（日）の勤務態勢を決定</li> </ul> </li> <li>● 17:00 一時避難場所（黒髪キャンパス及び大江キャンパスの体育館）に交代制による職員の配置</li> <li>○ 17:00 附属病院：第2回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 職員の安否確認 など</li> </ul> </li> </ul> <p>16日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1:25 <b>地震発生（本震）</b></li> <li>○ 附属病院：電気・ガス・水道（市水）の供給停止 ※電気は自家発電機起動</li> <li>● 2:00 参集可能な職員により大学の被災状況等を確認</li> <li>○ 3:04 附属病院：復電</li> <li>● 6:00 学生支援部職員が学生寄宿舍の状況を確認</li> <li>● 附属中学校のグラウンドを一時避難場所として開放</li> <li>● 11:00 上水道、ガスの供給停止を確認、黒髪北南キャンパスは井戸水を給水</li> <li>● 11:40 一部の建物で漏水による2次災害防止のため断水</li> <li>● 12:00 第3回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> <li>■ 黒髪キャンパスの全学教育棟、グローバル教育カレッジ棟、本荘キャンパスの体育館、京町地区の附属小学校体育館、附属中学校教室も開放</li> </ul> </li> <li>● 12:00 全学教育棟の一部の教室を一時避難場所として開放</li> <li>● // 学生、教職員の安否について改めての情報収集を開始</li> <li>● // 附属小学校の体育館を一時避難場所として開放</li> <li>● 13:00 学生寄宿舍の学生を全学教育棟の2教室（男女）に誘導（～20日（水））</li> <li>○ 14:30 附属病院：自衛隊による水の補給を開始</li> <li>● 15:00 全学教育棟に避難所を増設し、避難者数10名を受け入れ</li> <li>● 発生医学研究所建物内への立ち入りを制限</li> <li>○ 附属病院：ガス（中圧）復旧</li> <li>● 17:00 第4回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> </ul> </li> <li>● 17:20 18日（月）、19日（火）の休講を周知</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>17日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12:00 第5回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> </ul> </li> <li>○ 13:00 附属病院：外来診療の18日（月）休診を決定</li> <li>● 17:00 第6回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> </ul> </li> <li>● 18:30 18日（月）から22日（金）までの休講についてHP掲載</li> </ul> <p>18日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7:30 附属病院：第3回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各診療科等からの被害状況報告 など</li> </ul> </li> <li>○ 附属病院：外来診療休診</li> <li>● 工学部1号館への立入を禁止</li> <li>● 附属中学校の校舎1階教室を一時避難場所として開放</li> <li>● 10:00 第7回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> <li>■ 部局等を単位とした「対策チーム」の設置を了承</li> </ul> </li> <li>○ 11:00 附属病院：臨時運営審議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入院患者・病院職員の人的被害</li> <li>■ 救急患者受入れ状況</li> <li>■ ライフライン回復状況</li> <li>■ 他院からの患者受入れ及び各中央診療施設等の現状報告 など</li> </ul> </li> <li>● 15:00 臨時部局長等連絡調整会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月6日（金）までの休講を決定</li> <li>■ 建物等の被害状況等の報告</li> <li>■ 部局等を単位とした「対策チーム」の設置を依頼</li> </ul> </li> <li>○ 18:00 附属病院：第4回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告 など</li> </ul> </li> <li>● 19:50 5月6日（金）までの休講についてHP掲載</li> <li>● " 復旧に向けての工程表作成のため、部局等における検討事項の洗い出しを指示</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>19日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8:30 附属病院：外来診療再開</li> <li>● 11:00 第8回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> </ul> </li> <li>● 11:30 国立大学協会から支援についての連絡を受ける</li> <li>● 13:00 文部科学省に実験動物の状況について報告</li> <li>● 13:20 学長から教職員へのメッセージを発信</li> <li>● 14:00 外国人留学生安否確認完了</li> <li>● 14:30 授業料の口座振替の延期についてHP掲載</li> <li>○ 18:00 附属病院：第5回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告 など</li> </ul> </li> <li>● 18:20 メンタルに不調をきたしている学生に対して相談窓口を設置 (保健センター、学生相談室、学生支援室)</li> </ul> <p>20日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：外来臨床研究棟（4～6階）への立入を禁止</li> <li>● 避難学生の学生寄宿舍への受け入れを開始</li> <li>● 9:00 国際交流会館B棟からの避難指示（30世帯）</li> <li>● 附属特別支援学校の「すずかけの家」を一時避難所として2家族に提供</li> <li>● 11:00 第9回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> <li>■ オープンキャンパスの中止を決定</li> <li>■ 中期目標・中期計画の計画変更については文部科学省と調整</li> </ul> </li> <li>○ 18:00 附属病院：第6回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告 など</li> </ul> </li> <li>○ 附属病院：ガス（低圧）復旧</li> </ul> <p>21日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第10回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> <li>■ 化学物質の管理状況の対応を検討</li> </ul> </li> <li>● 13:36 廃棄物の廃棄方法について通知</li> <li>● 13:40 エレベータの安全を確認、一部を除き復旧</li> <li>● 14:36 オープンキャンパスの中止を周知</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 16:50 化学物質の管理について調査を開始</li> <li>● 学長から学生へのメッセージを発信</li> <li>● 18:00 学生ボランティア活動等の募集</li> <li>○ 18:00 附属病院：第7回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 本荘南地区避難所（体育館、駐車場）確認</li> <li>■ 他院からの人的支援の限定的受入れ</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告 など</li> </ul> </li> <li>● 19:07 教養教育に関するカレンダー・行事予定表の変更を周知</li> </ul> <p>22日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：ガス供給復旧</li> <li>● 9:00 九州大学の職員の支援を受け、応急危険度判定を実施</li> <li>● 10:00 附属幼稚園及び附属特別支援学校は5月6日（金）まで、附属小学校及び附属中学校は5月9日（月）までの休校（園）を決定</li> <li>● 11:00 第11回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 非常勤講師を除く職員全員の安否確認の完了を報告</li> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> <li>■ 「熊本大学地震復興事業基金」の開設を決定</li> <li>■ 自宅が被災した職員の宿舎への入居について検討</li> </ul> </li> <li>● 17:30 教職員に職員宿舎への入居希望を照会</li> <li>○ 18:00 附属病院：第8回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況報告</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告</li> <li>■ 臨時保育施設の設置について検討 など</li> </ul> </li> <li>● 学生の定期健康診断日程変更を周知</li> </ul> <p>23日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10:20 中国大使、留学生慰問のため来学</li> <li>● 15:00 第12回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況の確認</li> </ul> </li> </ul> <p>24日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：熊本県の災害対策本部へ本院DMAT 隊員派遣</li> </ul> <p>25日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 0:00 附属病院：本荘北地区車両ゲート稼働</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 9:00 九州地区5大学の協力を得て、被災建物の全室調査を開始</li> <li>● 10:00 グローバル教育カレッジ棟において留学生による各種講座を開始</li> <li>● 11:00 第13回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 12:00 保育サポートを外部の保育機関に委託するサービスの募集を開始</li> <li>○ 14:30 附属病院：自衛隊の補給水から市水に切り替え</li> <li>● 16:09 他機関からの研究支援の申し出について周知</li> <li>● 18:00 学生の被災状況等調査を実施（～5/30（月））</li> <li>○ 18:00 附属病院：第9回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況報告</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告</li> <li>■ 看護宿舎への臨時入居について報告 など</li> </ul> </li> </ul> <p>26日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第14回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 12:00 一時避難場所（附属小学校の体育館、附属中学校の教室）を閉鎖</li> <li>● 14:00 メンタルに不調をきたしている職員に対して学外の相談窓口を設置</li> <li>○ 18:00 附属病院：第10回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況報告</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告</li> </ul> </li> </ul> <p>27日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 9:00 発生医学研究所において、文部科学省からの設備被害状況調査実施</li> <li>● 11:00 第15回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学生全員の安否確認の完了を報告</li> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> <li>■ 名誉教授懇談会の開催中止を確認</li> </ul> </li> <li>● 11:20 被災学生を対象とした奨学金等の案内</li> <li>● 12:00 熊本地震に伴う入学検定料免除の決定</li> <li>● 16:10 就職活動中の学生に就職支援状況を提供</li> <li>○ 18:00 附属病院：第11回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物被害の状況、ライフラインの確認</li> <li>■ 関連病院からの患者受入状況、各病棟の空床状況報告</li> <li>■ 各診療部門等から現状報告</li> <li>■ 今後必要に応じて本会議を開催</li> </ul> </li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
5月	<p>28日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員を対象とした実務家教員（弁護士）による無料法律相談窓口を設置</li> <li>● 11:00 第16回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 16:20 学生支援部における連休期間中の臨時相談窓口の設置についてHP掲載</li> <li>● 18:00 自習室（図書館・全学教育棟）の利用開放についてHP掲載</li> <li>● 19:00 学生等のメンタルヘルス対応：熊本地震における「こころのケア」をHP掲載</li> </ul>
	<p>29日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 留学生の入居支援のため、国際交流会館B棟の代替アパートを契約</li> </ul>
	<p>30日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12:00 一時避難場所（黒髪キャンパスの体育館）を閉鎖</li> </ul>
	<p>1日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 15:00 文部科学大臣視察</li> </ul>
	<p>2日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10:00 附属図書館中央館部分開館再開 10:00～18:00（平日） 12:00～18:00（土日祝日）</li> <li>○ 附属病院：益城地区へ災害コーディネーター派遣（～5/29（日））</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第17回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 12:00 一時避難場所（大江キャンパスの体育館）を閉鎖</li> <li>● 16:10 就職活動中の学生に就職支援状況を提供</li> </ul>
	<p>6日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第18回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、一時避難場所の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 19:00 授業再開（5月9日）に伴う学生への配慮について教員へ依頼</li> </ul>
	<p>7日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化庁による国重要文化財の被災調査</li> </ul>
	<p>8日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12:00 一時避難場所（九品寺キャンパスの体育館）を閉鎖</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>9日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学、附属小学校、附属中学校の授業再開</li> <li>● 地震により中止していた学生の定期健康診断を再開</li> <li>● 被災学生を対象とした授業料免除の申請を受付</li> <li>● 11:00 第19回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 12:00 授業再開に係る授業への出欠状況調査</li> </ul>
	<p>10日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属特別支援学校授業、附属幼稚園保育の再開</li> </ul>
	<p>12日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第20回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、復旧工程の確認</li> <li>■ 初期対応に関する広報の確認</li> </ul> </li> </ul>
	<p>13日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学内ネットワークの被害状況等の調査</li> <li>● 18:00 国際交流会館E棟を一時避難場所として提供（～5/31（火））</li> <li>● 文部科学省へ平成28年度在学者の状況及び設備被害状況調査回答</li> </ul>
	<p>16日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第21回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、復旧工程の確認</li> <li>■ 学生のボランティア活動を単位認定することの決定</li> </ul> </li> <li>● 学生のボランティア活動を単位認定する旨の周知</li> </ul>
	<p>18日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：阿蘇医療センターに医師及び看護師の派遣開始（～6/1（水））</li> <li>● 11:00 第22回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害の状況、復旧工程の確認</li> <li>■ 寄附金の運用についての検討</li> </ul> </li> </ul>
	<p>20日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12:00 文部科学省学術機関課に、発生医学研究所、生命資源研究・支援センターの被害状況を報告</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>23日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第23回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、復旧工程の確認</li> <li>■ 安否確認の方法についての検討</li> </ul> </li> </ul> <p>26日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第24回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害、復旧工程の確認</li> <li>■ 復興広報キャンペーンを決定</li> </ul> </li> </ul> <p>30日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：健康管理等の支援のための益城町に医師の派遣開始</li> <li>● 11:00 第25回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物等の被害の状況、復旧工程の確認</li> </ul> </li> </ul> <p>31日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 グローバル教育カレッジにおいて外国人の被災学生を対象とした生活相談会を開催</li> </ul>
6月	<p>1日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熊本大学復興広報キャンペーンの実施</li> <li>● 8:40 附属図書館中央館通常開館再開 8:40～22:00（平日） 12:00～18:00（土日祝日）</li> </ul> <p>2日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:40 第26回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> </ul> </li> <li>● 15:00 文部科学省施設企画部による発生医学研究所の被害状況の視察</li> </ul> <p>6日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第27回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 復旧支援プロジェクトを決定</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> </ul> </li> <li>● 16:20 地震の影響による卒業・修了時期の延期等に関する調査を実施</li> </ul>



年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>14日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10:25 第28回災害対策本部会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> </ul> </li> <li>● 熊本大学復興支援プロジェクト始動</li> </ul>
	<p>16日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 14:00 本学の被災状況及び復興支援プロジェクトに関する記者発表</li> </ul>
	<p>20日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第29回災害対策本部会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> </ul> </li> <li>○ 附属病院：熊本市民病院との小児心臓外科手術受入契約を締結</li> </ul>
	<p>25日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30 熊本大学 熊本地震調査・支援活動報告会 ～2016年熊本地震からの創造的復興へ向けて～ を開催 主 催：熊本大学</li> </ul>
	<p>27日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10:30 第30回災害対策本部会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> <li>■ 安否確認システムの検討</li> </ul> </li> </ul>
	<p>28日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院：熊本市民病院から小児心臓外科手術を初めて受け入れ</li> </ul>
	<p>29日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 15:00 文部科学省による発生医学研究所の被害状況視察</li> </ul>
	<p>7月 4日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第31回災害対策本部会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> <li>■ 今後の検討課題の洗い出し</li> <li>■ 被害情報のホームページでの掲載終了を決定</li> </ul> </li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>11 日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第 32 回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 「熊本地震復興事業基金」を財源とする経済支援（奨学金）の検討</li> </ul> </li> </ul>
	<p>12 日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 16:00 学部主催の進学説明会についてHP掲載</li> </ul>
	<p>16 日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 15:00 第 3 回熊本大学九州連合同窓会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原田学長による基調講演 「平成 28 年（2016 年）熊本地震 熊本大学の震災復興」 主催：熊本大学同窓会連合会</li> </ul> </li> </ul>
	<p>20 日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熊本県、熊本大学、県商工会議所連合会、ミュージックセキュリティーズ（株）が「ふるさと投資を活用した熊本地震被災地応援ファンドに係る連携協定」を締結</li> </ul>
	<p>25 日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第 33 回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 各対策チーム年度内震災復旧対応</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> <li>■ 熊本地震復興事業基金等による「熊本大学復興の意気や溢るる奨学金」制度（給付型）の創設</li> <li>■ 地震による学業及び卒業・修了時期への影響等の調査</li> </ul> </li> <li>● 「熊大復興の意気や溢るる奨学金制度」創設</li> <li>● 震災後の学生状況把握に向けたアンケート調査を実施</li> <li>● 文部科学省から平成 28 年度国立大学法人運営費交付金の追加配分（災害支援関連経費）を受ける</li> </ul>
	<p>27 日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北陸先端科学技術大学院大学と熊本大学が「熊本地震からの復興支援に向けた連携及び協力に関する協定」を締結</li> </ul>
<p>8 月</p>	<p>5 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「熊本地震により卒業・修了時期への影響等があった学生に対する支援金制度」創設</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
9月	<p>27日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 15:00 熊本地震での身近なトラブルの解決へのアプローチ「震災 ADR（裁判外紛争解決）シンポジウム～仙台から熊本へ～」を開催 主 催：熊本大学大学院社会文化科学研究科、熊本大学法学部</li> </ul>
	<p>30日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 17:30 「熊本大学復興支援プロジェクト」による「平成28年度熊本大学政創研政策フォーラム 熊本地震復興のこれからを考える ―おたがいさまの社会づくり―」を開催 主 催：熊本大学政策創造研究教育センター 熊本大学地域創生推進機構</li> </ul>
	<p>5日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第34回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8/31（水）～9/1（木）に熊本地方で発生した震度5弱地震の被害状況</li> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 各対策チーム年度内震災復旧対応</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> </ul> </li> </ul>
	<p>7日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30～18:00 熊本大学と東北大学の学生ボランティア交流会を開催</li> </ul>
	<p>16日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熊本復興及び地方創生に向けた UIJ ターンのお願い活動開始</li> </ul>
	<p>20日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業技術総合研究所、熊本大学が「平成28年熊本地震からの早期復興に向けた連携及び協力に関する協定」を締結</li> </ul>
10月	<p>1日（土）～29日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30 熊本大学知のフロンティア講座「熊本県の防災・減災を考える」（全5回）を開催 主 催：熊本大学減災型社会システム実践研究教育センター 熊本大学政策創造研究教育センター 熊本大学地域創生推進機構 熊本地方気象台</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>8日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12:00 熊本大学×東北大学 市民公開講座「今、ともに学び考える！」を開催 主 催：熊本大学博士課程教育リーディングプログラム 「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIG0」 東北大学博士課程教育リーディングプログラム 「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」</li> </ul> <p>16日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:00 熊本地震学生ボランティア報告会を開催</li> </ul> <p>17日（月）</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第35回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 復旧工程の確認</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> <li>■ 安否確認システムの運用テスト</li> <li>■ 平成28年熊本地震記録集</li> </ul> </li> </ul> </div> <p>19日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 14:30 「熊本大学復興支援プロジェクト」による「ましきラボ」開所式</li> </ul>
11月	<p>3日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:00 熊本大学発サイエンスカフェ：くまもと未来会議 「熊本地震後の被災者と高齢者のケアと生きがいのまちづくり」を開催 主 催：熊本大学大学院先導機構 共 催：熊本大学大学院社会文化科学研究科</li> </ul> <p>4日（金）～6日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第5回紫熊祭 自衛隊との合同企画で熊本地震に関するパネル展示、支援活動で使用した装備品の展示 など</li> </ul> <p>14日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30 地域防災セミナー「～熊本地震からの教訓について～」を開催 主 催：熊本大学、熊本市 共 催：一般社団法人 国立大学協会九州地区支部会議</li> </ul>

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
	<p>21日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第36回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> <li>■ 熊本地震デジタルアーカイブ</li> <li>■ 地震発生から1年後の事業</li> <li>■ 平成28年熊本地震記録集</li> </ul> </li> </ul>
	<p>29日（火）～30日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:00 熊本震災復興支援事業「全国イノベーションコーディネーターフォーラム2016」を開催 <p style="margin-left: 20px;">主 催：国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）</p> <p style="margin-left: 20px;">後 援：文部科学省、経済産業省、熊本県、熊本市、熊本大学 ほか</p> </li> </ul>
	<p>12月 3日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30 第5回熊本大学関西連合同窓会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原田学長による基調講演 「平成28年（2016年）熊本地震 被害状況と復旧に向けた対応状況」</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">主催：熊本大学同窓会連合会</p> </li> </ul>
	<p>5日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:00 全教職員・学生を対象に安否確認訓練を実施</li> <li>● 14:00 「熊本大学復興支援プロジェクト」による「熊本産業復興支援プロジェクト協議会」のキックオフイベントを開催 <p style="margin-left: 20px;">主催：熊本産業復興支援プロジェクト協議会</p> <p style="margin-left: 40px;">（参加機関：熊本大学、北陸先端科学技術大学院大学、産業技術総合研究所、熊本県工業連合会、熊本県、熊本県産業技術センター、九州経済産業局）</p> </li> </ul>
	<p>8日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 14:30 第4回公共政策セミナー「震災からの復興を考えるー村は不幸を分け合うシステムたりうるかー」を開催 <p style="margin-left: 20px;">主催：熊本大学大学院社会文化科学研究科</p> </li> </ul>

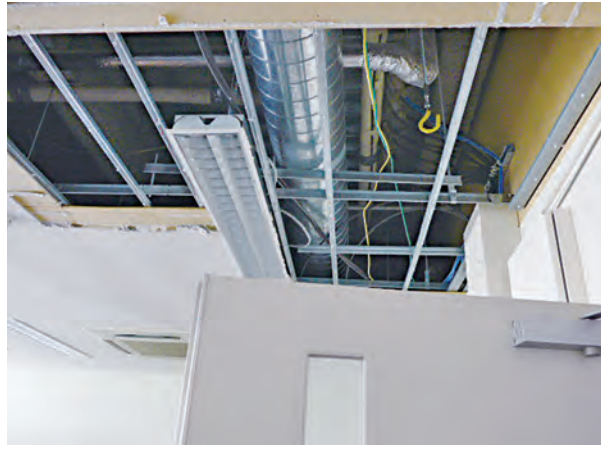
年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
29年1月	<p>19日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第37回災害対策本部会議           <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> <li>■ 復興ボランティアプロジェクトの承認</li> <li>■ 地震発生から1年後の事業</li> <li>■ 平成28年熊本地震記録集</li> </ul> </li> </ul>
	<p>27日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成28年度きらめきユースプロジェクト成果報告会を開催 概要：熊本地震に関連したプロジェクトの発表</li> </ul>
	<p>21日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 14:00 シンポジウム「熊本地震が提起する法的・政策的課題」を開催 主 催：熊本大学法学部 共 催：同窓会「武夫原会」</li> </ul>
	<p>23日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第38回災害対策本部会議           <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> <li>■ 熊本地震デジタルアーカイブ</li> </ul> </li> </ul>
	<p>31日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 14:00 「熊本大学復興支援プロジェクト」による「熊本大学熊本城復興シンポジウム」を開催 主 催：熊本大学 共 催：熊本市、風景デザイン研究会</li> </ul>
	2月
<p>20日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第39回災害対策本部会議           <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> <li>■ 地震発生から1年後の事業</li> <li>■ 平成28年熊本地震記録集</li> </ul> </li> </ul>	

年 月	日時及び主な取り組み（○は附属病院に関するもの）
3月	<p>28日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10:00 「熊本大学復興支援プロジェクト」による「くまもと産業復興支援プロジェクトフォーラム2017」を開催 主 催：熊本大学・熊本地方 COC+推進協議会</li> </ul>
	<p>2日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:00 熊本発！震災復興フォーラムを開催（東京） 主 催：国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） 後 援：文部科学省、復興庁、熊本県、くまもと COC+地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（熊本大学 ほか）</li> </ul>
	<p>10日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 13:30 COC・COC+シンポジウム「熊本地震からの復興と教育プログラム」を開催 主 催：熊本地方 COC+ 推進協議会（熊本大学 ほか）</li> </ul>
	<p>17日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業技術総合研究所、N E D O、熊本大学、熊本県が「新産業創出促進による創造的復興に関する協定」を締結</li> </ul>
	<p>22日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第40回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> </ul> </li> </ul>
4月	<p>10日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京大学先端科学技術研究センター、熊本大学、熊本県が復興支援を目的とした包括的連携協定を締結</li> </ul>
	<p>12日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 益城町、熊本大学が「平成28年熊本地震からの復興に係る包括的連携協定に係る包括的連携協定」を締結</li> </ul>
	<p>17日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11:00 第41回災害対策本部会議（最終） <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設・設備の復旧、就学支援に関する現況等</li> </ul> </li> </ul>

### (3) 本学の被災写真















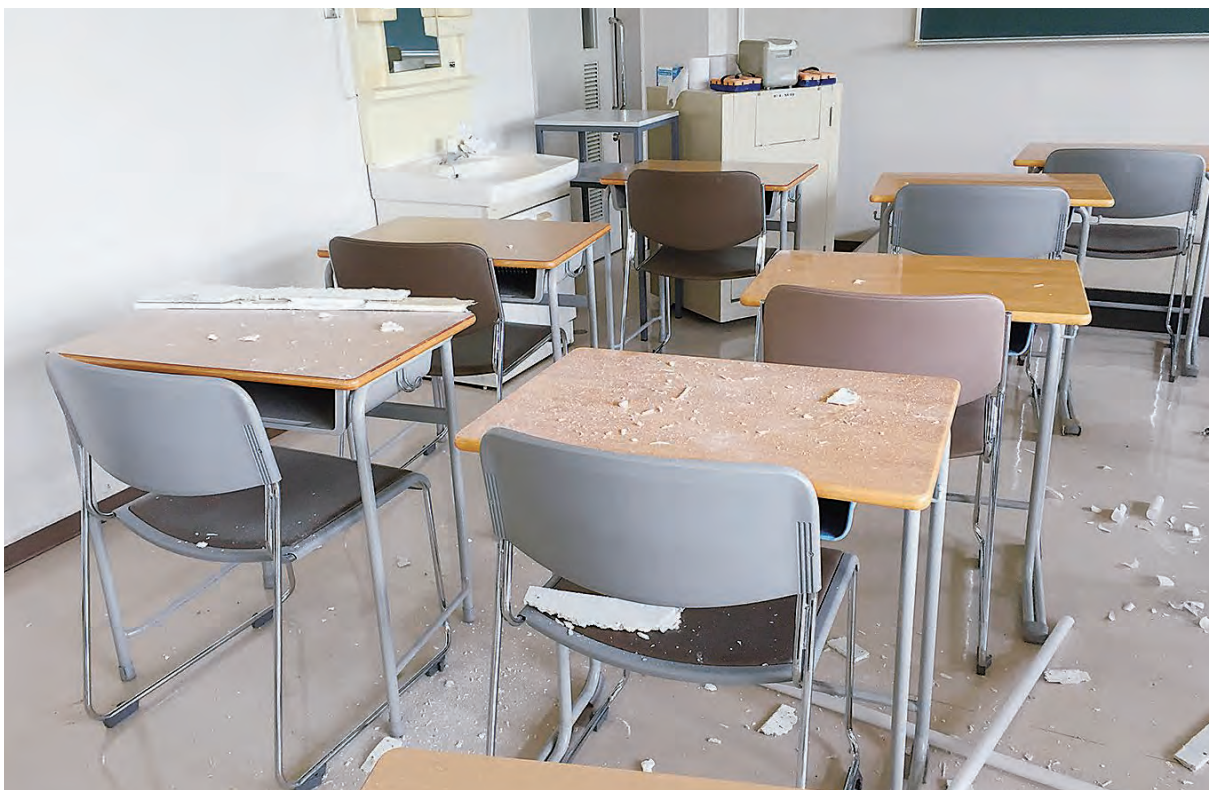
黒髪北













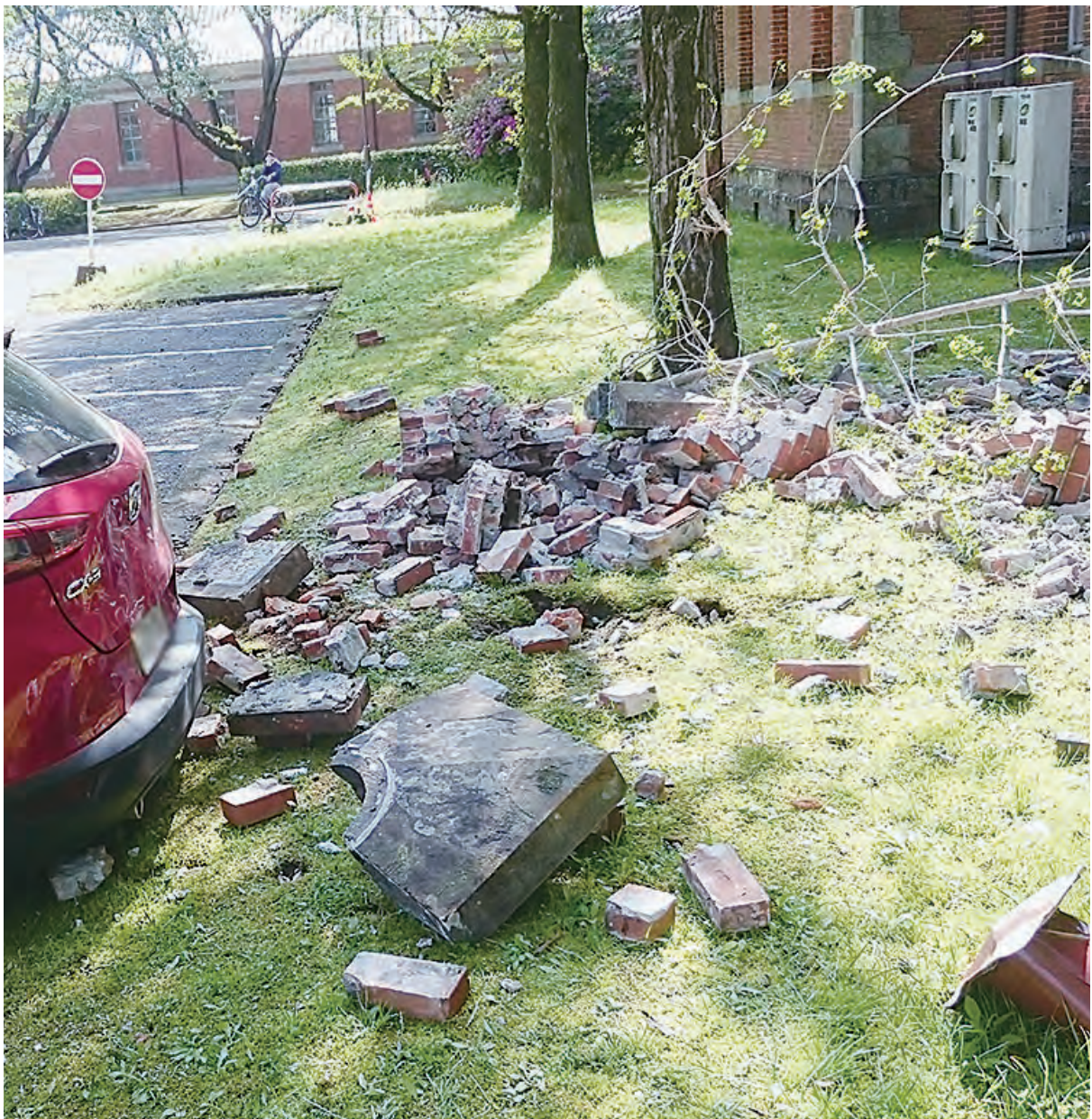


文化財









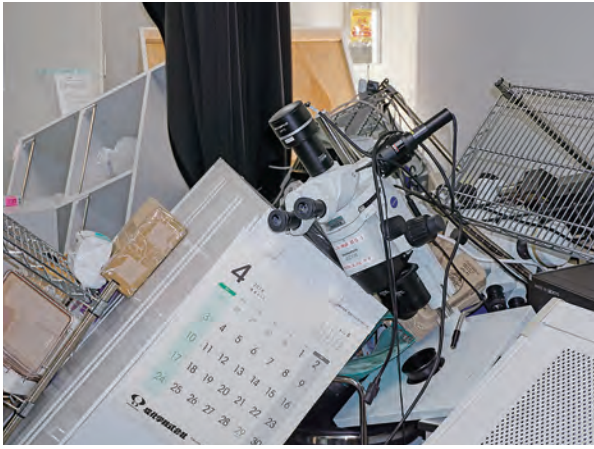
本荘・大江

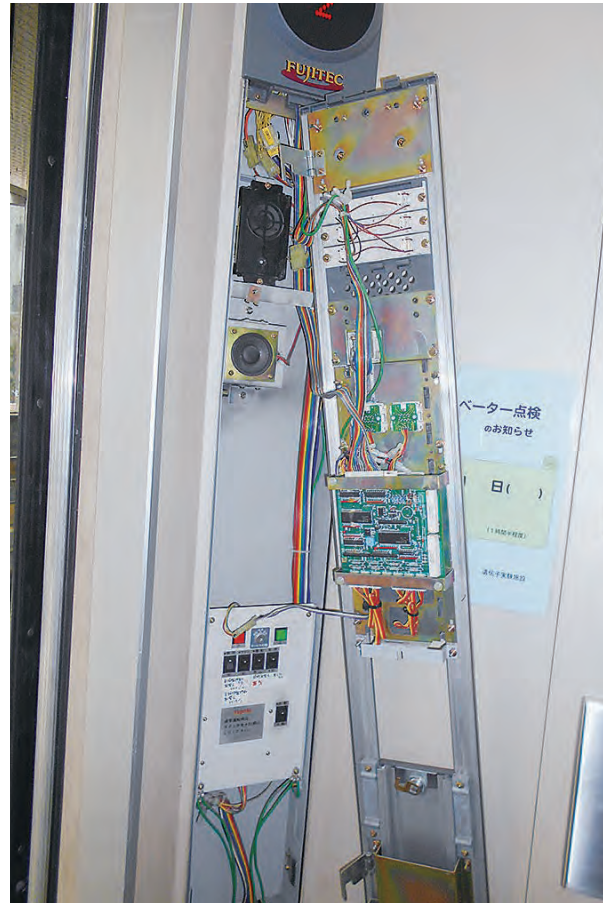


















京町

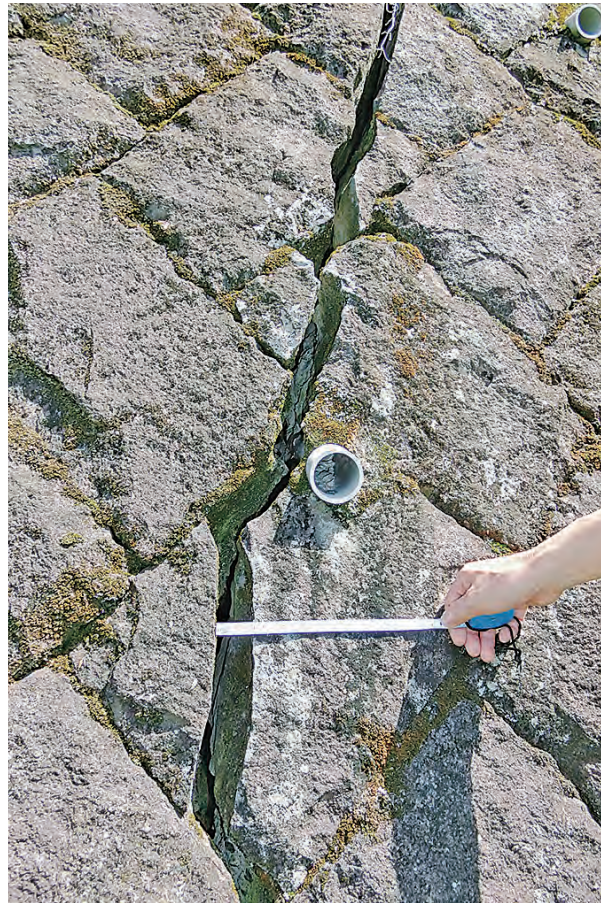
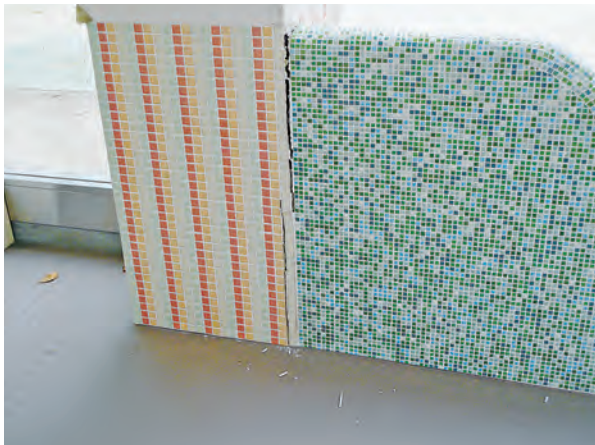














## (4) 平成28年熊本地震 被害状況と復旧に向けた対応状況



# 熊本復興支援プロジェクト始動

～平成28年(2016年)熊本地震からの復興のために熊大ができること～




## 創造する森 挑戦する炎

井上雄彦 記す

復興の意気や溢るる **熊本大学** (五高寮歌より)  
Full of Kumamoto University Spirit

平成28年6月16日




### 熊本地震からの復興のために熊大ができること

**熊本地震の前震と本震**

- 我が国の観測史上、例のない震度7の連続発生
  - 【前震】4/14(木) 21:26 最大震度7 (マグニチュード6.5)
  - 【本震】4/16(土) 01:25 最大震度7 (マグニチュード7.3)
  - 【余震】断続的に1,736回以上発生 (6/14(火)17:00時点)
- 死傷者1,806人、住宅の全半壊3万棟以上の被害が発生し、未だ6,431人の方が避難所生活を余儀なくされている。(6/13(月)13:30時点)
- さらに、阿蘇地域の交通網の遮断(橋桁やトンネル、道路の崩落)や貴重な観光資源(熊本城や阿蘇神社、水前寺成趣園など)にも大きなダメージ


**熊大の資源を熊本復興に**

- 地域とともに発展成長してきた熊大にとって、地域復興は大学の早期復旧と同様に最重要課題
- 地元の総合大学だからこそ集積できた教育研究資源を活用し、早期の熊本復興に貢献するため、
  - ①住民とともに歩む被災地域の創造的復興(サテライトラボ=まちづくり拠点の設置)
  - ②阿蘇火山性地質に起因する二次災害の緩和(自然災害に柔軟に対応した復旧復興)
  - ③水資源の研究成果に基づく、美しい熊本の水環境の回復(海・大気・地下の水循環)
  - ④熊本城をはじめとする歴史的建造物等の復旧・復元(最新技術による熊本城復元支援)
  - ⑤熊本の産業の創造的復興支援(企業のニーズと大学のシーズによる新産業の創出)
  - ⑥先端医療の地域への提供
  - ⑦地域コミュニティの機能再生(災害学生ボランティア)



地域の地(知)の拠点である熊大が熊本復興の推進力!

## 熊本復興支援プロジェクト始動に向けて



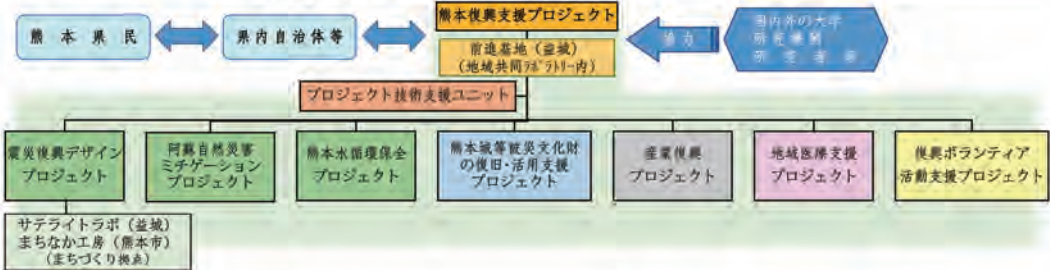
### 【熊本復興支援プロジェクトの設置と始動】

- 熊本大学は地元の国立大学として、熊本に関する課題研究に取り組んできた。
- 震災後、本学の多くの研究者からこれまでの研究成果を地域復興に活かさないかと、様々な提案がなされた。
- 研究者の熊本復興への想いと地域とともに発展を遂げてきた本学の使命として、学長を総括リーダーとする「熊本復興支援プロジェクト」を設置する。
- 自治体等の地域の声をもとに研究者の発意による復興プロジェクトを再編成し、「熊本復興支援プロジェクト」の下に復興プロジェクトチームを結成する。

**『熊本復興支援プロジェクト』 平成28年6月14日：設置**

- 総括リーダー：学長 原田 信 志
- 副総括リーダー：理事・副学長（研究・社会連携担当） 松本 泰 道  
大学院先端科学研究部・教授 柿 本 竜 治


ホームページ：http://www.kumamoto-u.ac.jp/  
 連絡先：fukko-sien@jim.kumamoto-u.ac.jp  
 096-344-2111（代）



○特徴：

- ① 熊大が持つ知的資源を熊本地方の復興に有効に活用するため、各復興プロジェクトの連携や統括を柔軟に行う。
- ② 国や県を含む自治体と連携し、情報交換、具体的取り組みの協力体制により復興を効率よく素早く行う。
- ③ 国内外の大学、研究機関、研究者等との協力により、復興を強力に推進する。

## 各復興プロジェクトの特徴



#### 震災復興デザインプロジェクト

- リーダー：柿本竜治（大学院先端科学研究部教授）  
e-mail: kakimoto@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：国土交通省、熊本県、益城町等
- 特徴：被災地での都市計画やまちづくりは、通常の何倍もの速度で進められる。短期間に、行政と住民の間で地域の将来像が共有されると、復興の足かせになる。熊本大学は、被災地にサテライトラボなどを設け、復興の現場で熊本大学の専門家が住民と対話しながら、地域の将来像を描く支援を行う。

#### 阿蘇自然災害ミチゲーションプロジェクト

- リーダー：松田博貴（大学院先端科学研究部教授）  
e-mail: rmat@scik.kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：国土交通省、熊本県、南阿蘇村等
- 特徴：火山性地質という特殊性による、地すべり、土石流、泥流、アースフローなどの山体崩壊の自然災害発生メカニズムの解明と、崩壊堆積物による今後の二次災害などへの適切な防災・減災対策を通じて、将来にわたり阿蘇の美しい風景を地域産業、観光資源として享受できる自然災害に柔軟に対応した社会づくりに挑戦する。

#### 熊本水循環保全プロジェクト

- リーダー：川路保基（大学院先端科学研究部教授）  
e-mail: goshi@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：熊本県、熊本市等
- 特徴：阿蘇山系から有明海に流れる河川の流域や、熊本の豊かな地下水を育み、かつその恵みを受ける地域での水の循環システムと水質に対し、熊本地震が与えた影響を明らかにする。さらに、今後将来に向けた堅牢で健全な水循環の維持と地下水資源を保全するためのランドデザインを創出する。

#### 地域医療支援プロジェクト

- リーダー：水田博志（医学部附属病院長・副学長）  
e-mail: mizuta@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：熊本県、熊本市、県医師会等
- 特徴：地域住民が安心して暮らせる熊本を取り戻すため、先端医療による地域医療支援を行う。

#### 復興ボランティア活動支援プロジェクト

- リーダー：安部美和（政策創造研究教育センター特任助教）  
e-mail: m-abe@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：熊本県、益城町等
- 特徴：災害復興から日常生活へ向けた生活環境の移行の中で、災害復興の名ステップに応じ、学生ボランティアの協働や大学の知的資源、専門性を活かしたコミュニティ支援を実施し、自然災害に対するしなやかでしたかな地域社会の復興に寄与する。

#### 熊本城等被災文化財の復旧・活用支援プロジェクト

- リーダー：山尾敏孝（大学院先端科学研究部教授）  
e-mail: yamao@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：文化庁、熊本県、熊本市、阿蘇市等
- 特徴：熊本城をはじめとする被災文化財や歴史的建造物の復旧・活用を支援する仕組みを構築し、熊本県と熊本市との連携を密に取り、大学として行うべき役割を実施する。


#### 産業復興プロジェクト

- リーダー：松本泰道（理事・副学長・くまもと地方産業創生センター長）  
e-mail: yasumi@kumamoto-u.ac.jp
- 主な連携機関：自治体、経済団体等
- 特徴：熊本大学の知的資源を有効に活用し、くまもと地方産業創生センターを中心に、COC+参加大学、自治体や経済界等と連携しながら、被災した1次2次3次産業の復旧・復興を支援し、ベンチャー等新産業の創出により、震災前よりも活性化させた熊本を創生する。

#### プロジェクト技術支援ユニット

- リーダー：尾原祐三（大学院先端科学研究部教授）  
e-mail: obara@kumamoto-u.ac.jp
- 特徴：各種センサー、レーザ技術、ドローン技術、ロボット技術などの最新のセンシング・モニタリング技術や画像処理、ビッグデータ処理などの様々なデータ解析法を用いて復興プロジェクトを支援する。

地域や自治体のニーズに  
応えるため  
大学シーズをプロジェクト化し  
復興に役立てる



産官学の総力を結集し、  
熊本復興を早期実現

**連携・協力**

- 国・県・市町村
- 国内外の大学・研究機関
- 経済団体等

- 183 -

復興の足音を辿る  
熊本大学

## サテライトラボ(まちづくり拠点)の設置 (震災復興デザインプロジェクト)

◎ 特に被害が集中した「益城町」(住民、行政とも甚大な被害)

- ① 【住民とともに】益城町の被災者、住民と協働し、彼らが落ち着いて将来の姿をデザインできるようなまちづくり拠点
- ② 【行政とともに】市民の想いを集約し、復興計画へ反映させる行政支援
- ③ 被災者支援の学生ボランティアの拠点としても機能

### 持続可能なコミュニティを創出・支援する場の構築




候補地: 秋津川河川公園  
 ・益城町における住民活動の中心的な場  
 ・自然に触れ合い、リフレッシュしながら、  
 未来の益城に思いを馳せる場



## 編集後記

平成28年熊本地震から1年が過ぎました。頻繁に発生していた余震も月日の経過とともに減少し、「また大きな地震が起きるのでは」という予測できないことへの不安からも解放されつつあります。学内を行き来する学生達の様子からは、地震があったことさえ忘れてしまうほど平穏な日常に戻りましたが、補修工事中の建物及び仮設プレハブ校舎、立入禁止の工学部1号館や五高記念館、学外に目を向ければ、修復が始まったばかりの熊本城、建物解体後の更地、ブルーシートに覆われたままの屋根、基幹道路の寸断や仮設住宅での生活で多くの方々は今も不自由な生活を強いられている現状を見れば、計り知れない爪痕と被害の大きさを痛感させられます。

今回の一連の地震では、数十時間の間に最大震度7を2回観測、その後も観測史上類を見ない余震が発生し、自然の力の大きさと怖さ、そして自然災害に対する人間の無力さを実感しました。地鳴り、テレビや携帯電話等から鳴り響く緊急地震速報のアラーム音、突き上げるような大きくて長い揺れ、その時はただただ身構えて揺れが収まるのを待つしかなく、その恐怖は今も鮮明に憶えています。自然の力は、土砂崩れや隆起、陥没により道路を寸断し、橋の崩落、液状化現象、家屋の倒壊、ライフラインの停止、交通機関の乱れなど私たちの日常生活に想像をはるかに超える被害をもたらしました。

本学においては、幸いにも関係者の人的被害は、ほとんどが軽傷で済みましたが、建物、建物内外の設備及び実験機器等の物的被害は、教育研究活動に大きな支障を及ぼしました。また、避難所の開設に当たっては、事前の備えとして災害等緊急時における本学施設の利用について熊本市と協定を締結していましたが、実際の住民等の受け入れは初めてのことであり、熊本市との連携も含めて多くの課題を認識しました。

このような状況から、本学のことだけに限らず、この熊本の地で地域と共存する大学として被災した地域に対しても、教職員と学生が一丸となって、まずは数日や数週間の短期的な応急対応、次に数月にわたる中期的な復旧に取りかかり、そして今まさに数年を要するような長期的な復旧と復興に取り組んでいます。これらの活動においては、自らも被災者でありながらも、前震直後から避難してきた方を率先して誘導する職員、研究成果を被災地復旧に役立てる教員、学内の立入規制建物から荷物を運び出す教員と学生の姿を目の当たりにして、更には、自主的な判断から避難所運営に多大な貢献をした学生組織やボランティアとして若い力と行動力を示した多くの学生の話などを聞き、互助・共助の精神の大切さと熊本大学の人財の豊富さ、ポテンシャルの高さ、そして試練を乗り越えようとする組織力の強さを実感しているところです。

また、他の国立大学や関係機関、企業、同窓生、全国の方々からたくさんの支援物資や寄附をいただきましたが、様々な場での復旧復興の後押しとなったことは言うまでもありません。皆様からの心温まるご支援に対しまして、改めて感謝申し上げますとともに、この地震で尊い命を失われた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

この記録集は、地震直後の混乱への対応、その後の復旧と復興に向けた取り組み等の約1年間をありのままに記録したものです。今後、いつどこで災害が発生し対応を迫られるか予測はできませんが、この経験を将来に生かさなければなりません。想定を超えた災害への対応を記録した本書が、皆様の災害対策の一助となれば幸いです。

国立大学法人熊本大学 理事(財務・施設担当)

西川 泉

## 4.14 4.16 想定を超える混乱に直面して 熊本大学 熊本地震記録集

---

---

編集・発行：国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1  
TEL 096-344-2111 (代表)

印 刷：株式会社かもめ印刷  
〒861-2403 熊本県阿蘇郡西原村布田834-55  
TEL 096-279-3440



Kumamoto University